

平成29年版

共に創ろう未来への架け橋
～元気・チャレンジ・感動～

町勢要覧



天皇皇后両陛下御来島
～百合ヶ浜展望所～



鹿児島県 与論町

町民憲章

(昭和五十八年六月十八日制定)

わたくしたち与論町民は、恵まれた美しい自然
と祖先の遺訓である「誠」の伝統に誇りを持ち、
積極性と創造性を培い、島の永遠の繁栄をめざし
てここに町民憲章を定めます。

一 わたくしたちは きまりを守り

平和で生きがいのある町をつくります

一 わたくしたちは 仕事に喜びを持ち

豊かな住みよい町をつくります

一 わたくしたちは 進んで心身を鍛え

活力に満ちた明るい町をつくります

一 わたくしたちは 自然を愛し

花と緑の美しい町をつくります

一 わたくしたちは 教育に力を注ぎ

風格のある文化の町をつくります

町民歌

(昭和五十三年四月二十六日制定)

作詩 内与詩守
作曲 益田元甫

一

黒潮はるかに 明けわたり
朝日に燃える さんご礁
自然のめぐみ 拓きつつ
あかるく進む わが与論

あぁ この空に この海に
みんなの夢が あふれてる

二

港に世紀の 声すれば
畑にキビの 茂るうた
玉なす汗も うつくしく
ゆたかに伸びる わが与論

あぁ この島に この土に
まことの花が 咲き香る

三

名残りもゆかしい城の跡
あこがれ寄せる 百合ヶ浜
むかしをしのび 今を知り
心をむすぶ わが与論

あぁ この町に この郷に
かがやくあすが 待っている

目 次

■位置・交通	2
■自然・気象	3
■与論町の沿革	4
■行政機構	5
■議会構成	7
■人口	8
■選挙	9
■財政	10
■所得	14
■産業経済	15
■空港・港湾・道路	19
■保健・衛生・民生・福祉	20
■消防・防災	22
■教育	23
■社会・文化	24
■観光	27
■与論町のあゆみ	30
■町内主要施設等一覧	39

位置・交通

◆位置

所在地(役場)	東 経	北 緯
茶花32番地1	128° 24' 53"	27° 02' 55"

鹿児島から	奄美大島から	沖縄(那覇)から
航空路(576km)で約1時間20分	航空路(201km)で約40分	航空路(117km)で約40分

◆面積・標高

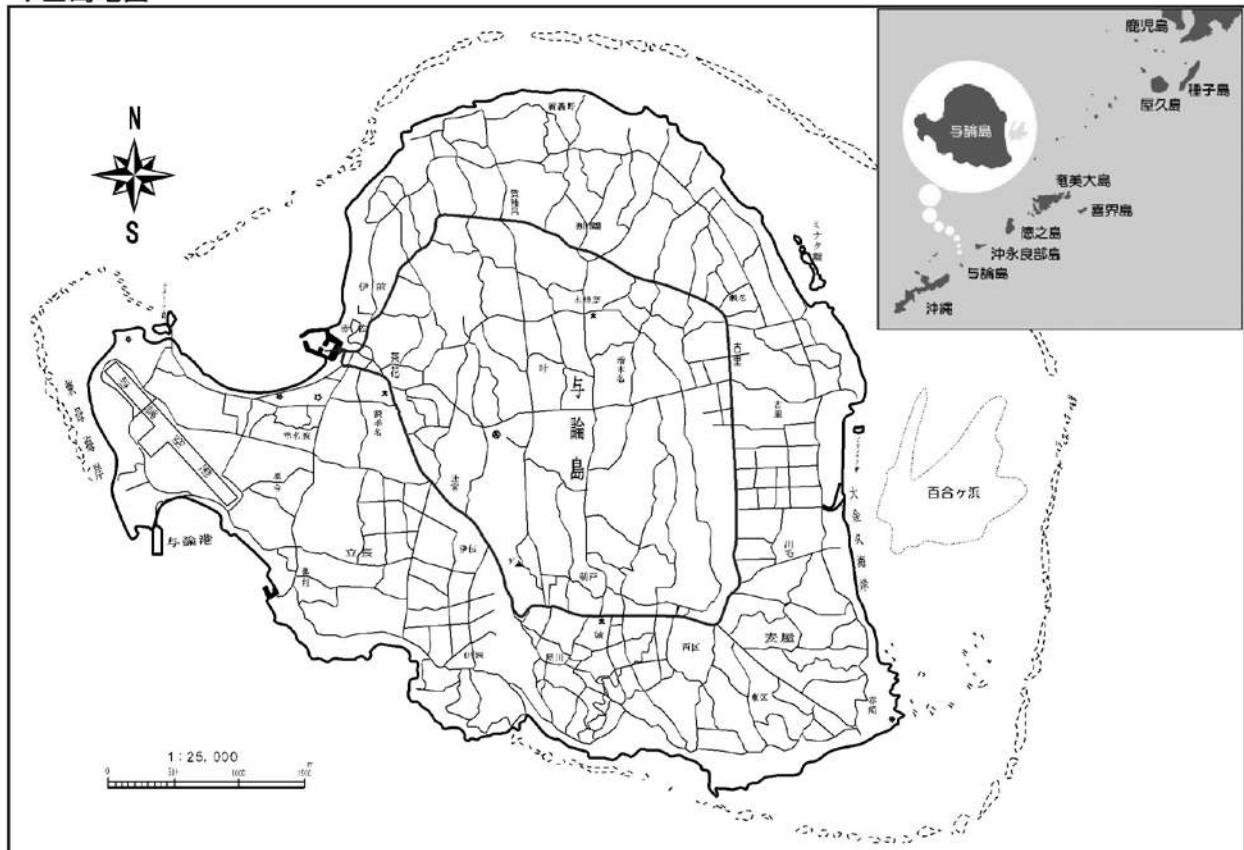
(平成28年10月1日現在)

周 囲	総 面 積	耕地面積※1	林野面積※2	最高標高
23.7 km	20.58 km ²	11.10 km ²	0.88 km ²	97.1m

※1 農林水産省面積調査(平成24年7月15日現在)

※2 平成25年度県林業統計

◆全島地図



◆定期フェリー路線 (平成29年12月1日現在)

下り	鹿児島	名瀬	亀徳	和泊	与論	本部	那覇
	出 18:00	入 5:00	入 9:10	入 11:30	入 13:40	入 16:40	入 19:00
		出 5:50	出 9:40	出 12:00	出 14:10	出 17:10	

上り	那覇	本部	与論	和泊	亀徳	名瀬	鹿児島
	出 7:00	入 9:00	入 11:50	入 14:10	入 16:30	入 20:30	入 8:30
		出 9:20	出 12:10	出 14:40	出 17:00	出 21:20	

◆航空路線 (平成29年12月1日現在)

鹿児島便

	鹿児島	与 論	鹿児島
発着時間	出 11:05	着 12:25 発 12:55	着 14:05

沖縄便

	那覇	与 論	那覇
発着時間	出 13:00	着 13:40 発 14:05	着 14:45

奄美便(沖永良部経由)

	奄美大島	沖永良部	与 論	沖永良部	奄美大島
火・木・土	出 13:10	→	着 13:55 発 14:20	着 14:45 発 15:10	着 15:45
月・水・金・日	出 13:10	着 13:50 発 14:20	着 14:45 発 15:10	→	着 15:50



◆町花・町木



ハイビスカス(昭和58年指定)



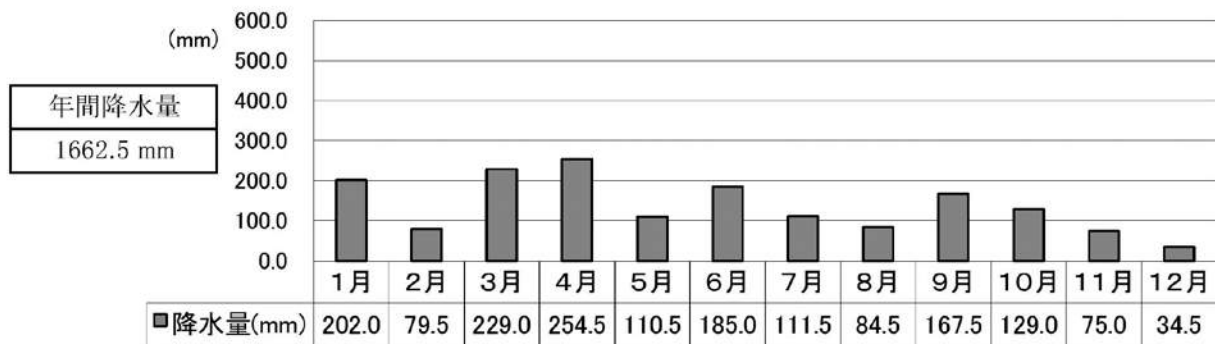
島クロキ(昭和58年指定)



カジュマル(昭和59年指定)

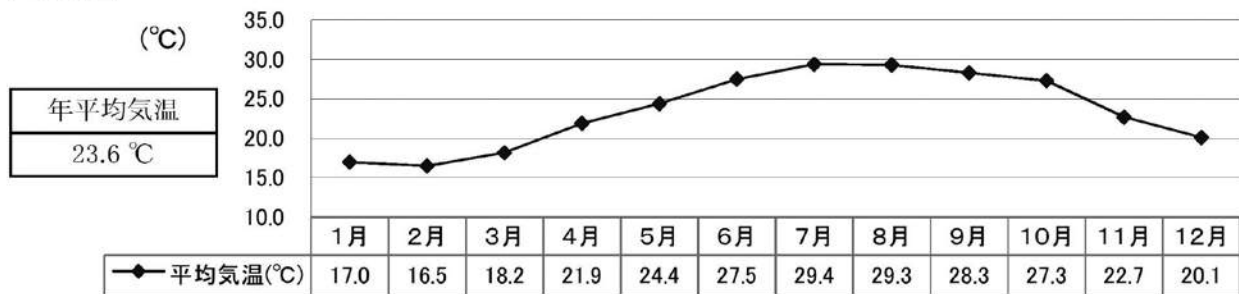
◆降水量

(平成28年 資料:気象庁)



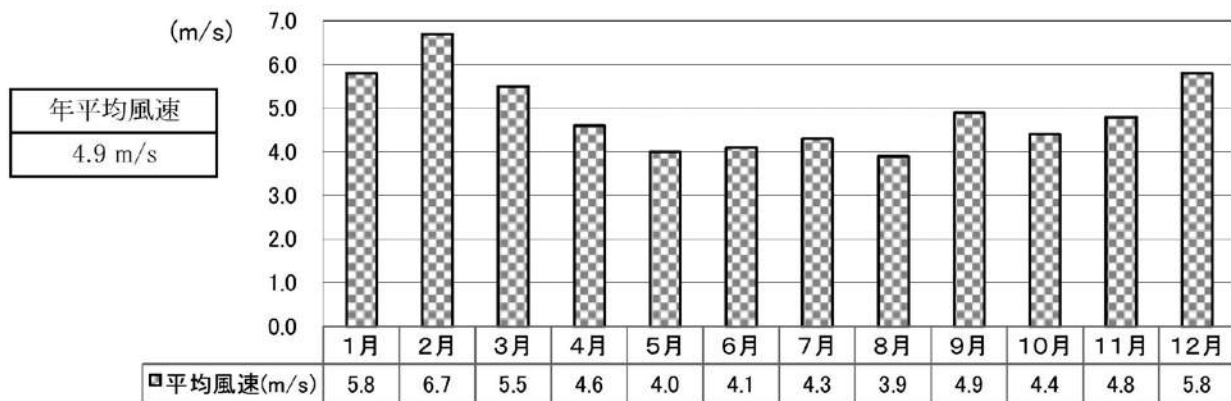
◆平均気温

(平成28年 資料:気象庁)



◆平均風速

(平成28年 資料:気象庁)



あまんゆ 「奄美世」のころ

推古 24 年(616)を境に、日本に対してはそれまでの植民地的関係から朝貢時代に移り、大和朝廷に従属したこと、大宝元年(701)、筑前国に大宰府が設置されてその管轄となり、純然たる日本の領土となったことなどが分かっています。

原始からこのころまでの、階級社会以前ののどかで太平な部落共同体の時代を、後の世で「奄美世(奄美時代)」と呼んでいます。

あじゆ 「按司世」のころ

天長元年(824)経済上の理由から大宰府の管轄外に放棄され、琉球王朝に服属するまで約 440 年間、無所属時代が続きました。

このころは、按司という首長たちの支配割拠する階級社会が形成された時代で、「按司世」と称しています。

なはゆ 「那覇世」のころ

文永 3 年(1266)、琉球王朝の善政を慕って自ら英祖王に納貢し、以後 340 年間琉球王の統治下にありました。

このころは、平和で安穏をおう歌した時代「那覇世」であり、後の藩政時代「大和世」と特に区別されています。

やまとゆ 「大和世」のころ

慶長 14 年(1609)、島津藩の琉球征服の結果、与論を含む大島諸島は琉球から分割されて薩摩の直属となり、沖永良部に含まれた行政管下に置かれ、明治 4 年(1871)の廃藩置県に至るまで、約 260 年間封建政治の奴隷的植民地政策にしん吟しなければなりませんでした。

この「大和世」の間、元禄以後は砂糖が重要な意義をもち特に延享 3 年(1746)の“換糖上納”決定以後はサトウキビが主作の地位につき、産業経済に重大な影響を与えました。

明治・大正のころ

明治 6 年、在藩所が廃止されて戸長制にかわり、沖永良部島から与論島が行政上分離独立し、明治 8 年、与論支所が設立され、大水間切と東間切に戸長役場を設置しました。明治 13 年、大字瀬利覚(現在の城)に戸長役場をまとめて以来、数回にわたり役場所在地を変更した後、大正 4 年に現在地に落ち着きました。

また、明治 41 年に島しょ町村制が実施されて「与論村」が誕生した後、大正 9 年には町村制が施行されています。

一方、明治 32 年から 34 年にかけて、過酷な自然と人口過密のため、島民約 900 人が長崎県口之津町へ集団移住(10 年後に福岡県大牟田市三池に転住)しました。

終戦・祖国復帰 新しい時代へ

昭和 19 年、満州開拓団として島民約 600 人が中国錦州省盤山に入植しましたが、敗戦により引き揚げ、約 260 人が鹿児島県田代町(現 錦江町)に集団移住しました。

昭和 21 年、2.2 宣言により米国軍政下に置かれたため、戦後復興は 8 年もの間放置され耐乏生活を余儀なくされました。

昭和 28 年 12 月、日米協定に基づく祖国復帰を果たし、翌 29 年からは特別措置法により、復興、振興、振興開発と現在まで振興策が講じられてきました。

また、昭和 37 年 12 月 28 日付自治省告示第 74 号により、翌 38 年 1 月から町制を施行し、「与論町」となり現在に至ります。

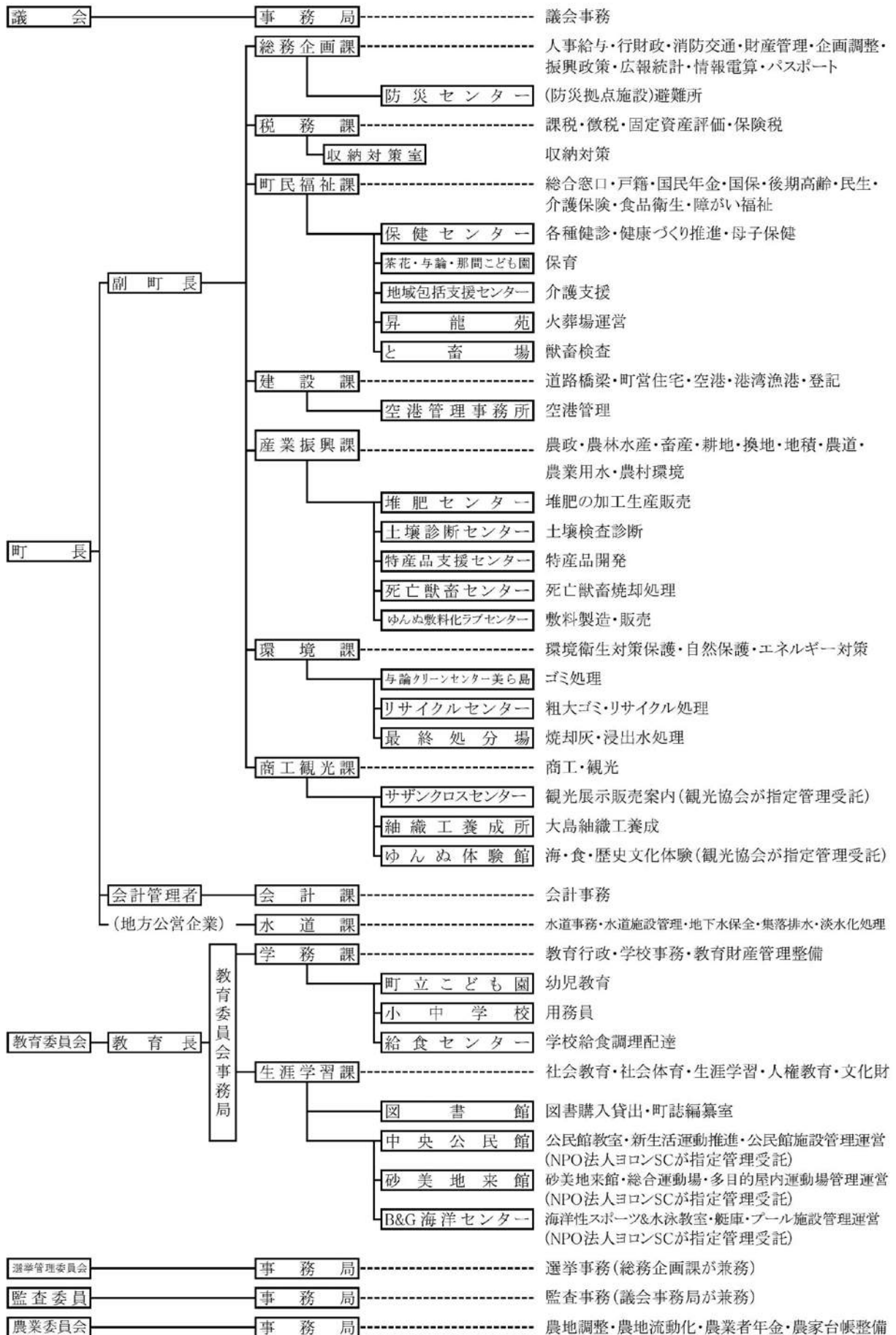
町民の暮らしに直結する交通・産業の基盤整備や農・水産業、観光などの振興は近年著しいものがありますが、新しい時代への一層の飛躍を目指して、町民一丸となり「共に創ろう 未来への架け橋 ～元気・チャレンジ・感動～」をスローガンに、まちづくりに取り組んでいます。



旧役場庁舎

行政機構

(平成29年4月1日現在) 職員数107人



◆名誉町民

氏 名	推戴年月日	氏 名	推戴年月日	氏 名	推戴年月日
有 村 治 峯	昭和48年12月25日	西 田 当 元	昭和48年12月25日	山 下 平 志	昭和54年12月17日
龍 野 通 雄	昭和54年12月17日	伊 藤 佐 江 吉	昭和56年12月9日	徳 田 虎 雄	平成24年10月12日
上 野 應 介	平成25年9月17日				

◆栄誉町民

氏 名	推戴年月日	氏 名	推戴年月日	氏 名	推戴年月日
益 田 元 甫	平成14年6月13日	池 田 政 敏	平成16年12月19日	山下 為吉	平成21年11月30日
佐 藤 持 久	平成21年11月30日	有 村 榮 男	平成25年11月14日	堀 円治	平成25年11月14日
菊 千 代	平成28年11月13日				

◆歴代戸長・村長・町長

氏 名	在職期間(年・ヶ月)	氏 名	在職期間(年・ヶ月)	氏 名	在職期間(年・ヶ月)
鶴 政 信	明治6年～ 明治13年 (7・0)	山 下 平 志	大正7年7月～ 大正13年2月 (5・7)	久 留 富 森	昭和34年9月～ 昭和38年9月 (4・0)
上 野 應 介	明治13年～ 明治34年 (21・0)	山 喜 見 政	大正13年4月～ 昭和8年4月 (9・1)	龍 野 通 雄	昭和38年9月～ 昭和50年9月(12・0)
梅 山 藤 里	明治34年～ 明治38年 (4・0)	黒 田 正 孝	昭和8年4月～ 昭和12年3月 (4・0)	坂 元 原 澄	昭和50年9月～ 昭和54年9月 (4・0)
時 千 良	明治38年～ 明治39年 (1・0)	田 中 上 安	昭和12年7月～ 昭和16年6月 (4・0)	山 市 郎	昭和54年9月～ 昭和58年9月 (4・0)
林 助 熊	明治39年～ 明治41年 (2・0)	黒 田 正 孝	昭和16年8月～ 昭和18年12月 (2・4)	川 畑 浩 一	昭和58年9月～ 昭和62年9月 (4・0)
龍 田 佐 隆 史	明治41年～ 明治45年 (4・0)	金 井 清 実	昭和19年4月～ 昭和23年6月 (4・2)	福 富 雄	昭和62年9月～ 平成3年9月 (4・0)
龍 宮 辰 次 郎	大正元年～ 大正4年 (4・0)	山 本 喜 久 政	昭和23年6月～ 昭和27年9月 (4・3)	平 田 敏 秀	平成3年9月～ 平成11年9月 (8・0)
龍 中 興	大正4年～ 大正5年 (1・0)	龍 野 通 雄	昭和27年9月～ 昭和30年8月 (3・0)	南 政 吾	平成11年9月～ 平成27年9月(16・0)
皆 吉 平 安 禎	大正5年～ 大正7年 (2・0)	山 下 平 志	昭和30年9月～ 昭和34年9月 (4・0)	山 元 宗	平成27年9月～ 現在に至る

◆歴代助役(平成19年10月以降は副町長)

氏 名	在職期間(年・ヶ月)	氏 名	在職期間(年・ヶ月)	氏 名	在職期間(年・ヶ月)
山 喜 見 政	大正9年4月～ 大正13年4月 (4・0)	港 豊 茂	昭和27年2月～ 昭和30年2月 (3・0)	川 畑 辰 雄	昭和55年6月～ 昭和58年9月 (3・3)
黒 田 正 孝	大正13年4月～ 昭和8年4月 (9・0)	基 玄 森	昭和30年5月～ 昭和32年7月 (2・2)	朝 岡 勝 雄	昭和58年10月～ 昭和62年9月 (4・0)
市 来 好 満	昭和8年4月～ 昭和12年6月 (4・2)	田 中 植 里	昭和32年8月～ 昭和34年11月 (2・3)	川 畑 辰 雄	昭和63年2月～ 平成3年9月 (3・7)
山 本 喜 久 政	昭和12年6月～ 昭和16年3月 (3・9)	谷 山 慶 介	昭和34年12月～ 昭和38年11月 (4・0)	町 田 末 吉	平成4年10月～ 平成11年4月 (6・6)
久 留 富 森	昭和16年3月～ 昭和21年6月 (5・3)	増 尾 並 村	昭和39年3月～ 昭和47年4月 (8・0)	大 田 元 茂	平成11年10月～ 平成19年9月 (8・0)
金 久 盛 高	昭和23年7月～ 昭和25年8月 (2・1)	川 畑 茂	昭和47年4月～ 昭和51年3月 (4・0)	川 上 政 雄	平成23年10月～ 平成27年9月 (4・0)
杉 森 情	昭和25年9月～ 昭和26年11月 (1・2)	大 山 直 行	昭和51年6月～ 昭和55年3月 (3・9)	久 留 満 博	平成27年10月～ 現在に至る

※平成19年10月1日～平成23年9月30日まで、副町長の事務は総務企画課長が兼掌

◆歴代収入役

氏 名	在職期間(年・ヶ月)	氏 名	在職期間(年・ヶ月)	氏 名	在職期間(年・ヶ月)
吉 田 鶴 吉	明治41年～ 大正4年 (9・0)	山 本 喜 久 政	昭和8年4月～ 昭和12年6月 (4・2)	村 田 序 克	昭和37年8月～ 昭和46年8月 (9・0)
麓 義 弘	大正5年～ 大正6年 (2・0)	柳 田 泰 助	昭和12年6月～ 昭和16年3月 (3・9)	平 田 前 行	昭和46年8月～ 昭和58年8月 (12・0)
池 田 政 住	大正7年～ 大正12年 (6・0)	金 久 盛 高	昭和16年3月～ 昭和23年6月 (7・3)	阿 多 健 夫	昭和58年8月～ 平成3年8月 (8・0)
山 下 清 信	大正13年～ 昭和6年 (8・0)	杉 森 情	昭和23年7月～ 昭和25年9月 (2・2)	南 仁 義	平成3年8月～ 平成15年6月 (11・10)
市 来 好 満	昭和7年4月～ 昭和8年4月 (1・0)	町 永 吉 澄	昭和25年9月～ 昭和37年7月 (11・10)		

※平成15年10月1日～平成19年3月31日まで、収入役の事務は助役が兼掌、平成19年4月1日以降は、会計管理者(会計課長兼務)が兼掌

◆歴代教育長

氏 名	在職期間(年・ヶ月)	氏 名	在職期間(年・ヶ月)	氏 名	在職期間(年・ヶ月)
武 田 恵 喜 光	昭和27年5月～ 昭和29年5月 (2・1)	竹 内 得 吉	昭和39年10月～ 昭和50年9月 (11・0)	喜 山 富 三	平成元年10月～ 平成5年9月 (4・0)
伊 藤 佐 孝	昭和29年6月～ 昭和30年8月 (1・3)	山 下 勇 夫	昭和50年10月～ 昭和54年9月 (4・0)	竹 下 徹	平成5年10月～ 平成13年9月 (8・0)
山 下 福 哉	昭和30年12月～ 昭和31年9月 (0・10)	益 田 元 甫	昭和54年12月～ 昭和62年12月 (8・0)	田 中 國 重	平成13年10月～ 平成25年9月 (12・0)
東 可 梯	昭和31年10月～ 昭和39年9月 (8・0)	福 永 政 亘 美	昭和63年1月～ 平成元年9月 (1・8)	町 岡 光 弘	平成25年10月～ 現在に至る

平成29年10月1日現在

○議員定数10人

議 長	福 地 元一郎	副 議 長	林 隆 壽	監査委員	大 田 英 勝
-----	---------	-------	-------	------	---------

◆常任委員会

委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員		
総務厚生文教	高 田 豊 繁	林 敏 治	川 村 武 俊	大 田 英 勝	福 地 元一郎
環境経済建設	野 口 靖 夫	沖 野 一 雄	遠 山 勝 也	町 俊 策	林 隆 壽
広 報	大 田 英 勝	川 村 武 俊	遠 山 勝 也	町 俊 策	林 隆 壽

◆議会運営委員会

委 員 長	副 委 員 長	委 員		
大 田 英 勝	高 田 豊 繁	町 俊 策	野 口 靖 夫	林 隆 壽

◆沖永良部・与論地区広域事務組合議員

沖 野 一 雄	林 敏 治	野 口 靖 夫
---------	-------	---------

◆歴代議長

氏 名	在職期間	年 数	氏 名	在職期間	年 数
川 畑 谷 城	自 昭和26年8月 至 昭和27年1月	5か月	谷 山 慶 介	自 昭和47年3月 至 昭和63年9月	16年6ヶ月
市 来 平 三	自 昭和27年1月 至 昭和27年9月	8か月	林 寿 雄	自 昭和63年9月 至 平成 8年9月	8年
有 村 泰 治	自 昭和27年9月 至 昭和31年9月	4年	野 口 靖 夫	自 平成 8年9月 至 平成16年9月	8年
町 田 原 長	自 昭和31年9月 至 昭和38年8月	7年	町 田 末 吉	自 平成16年9月 至 平成24年9月	8年
川 畑 茂	自 昭和38年9月 至 昭和39年9月	1年	大 田 英 勝	自 平成24年9月 至 平成28年9月	4年
町 田 原 長	自 昭和39年9月 至 昭和43年9月	4年	福地 元一郎	自 平成28年9月	現在に至る
川 畑 茂	自 昭和43年9月 至 昭和47年3月	3年6か月			

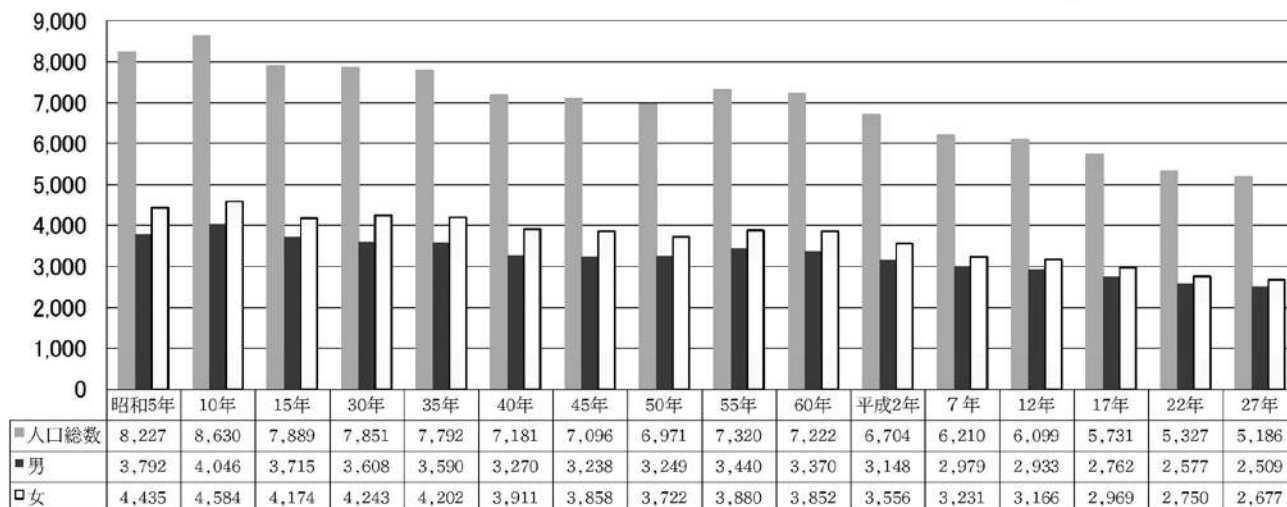
人 口

◆人口の推移

(資料：国勢調査)

(人)

■人口総数 ■男 □女



◆世帯数と一世帯当り世帯人員の推移

(資料：国勢調査)

年	世帯数	世帯人員(人)	年	世帯数	世帯人員(人)	年	世帯数	世帯人員(人)
昭和5年	1,714	4.80	昭和45年	1,626	4.40	平成12年	2,063	3.00
昭和10年	1,817	4.70	昭和50年	1,697	4.10	平成17年	2,087	2.75
昭和15年	1,731	4.60	昭和55年	1,939	3.80	平成22年	2,007	2.65
昭和30年	1,640	4.80	昭和60年	1,979	3.60	平成27年	2,056	2.43
昭和35年	1,635	4.80	平成2年	2,013	3.30			
昭和40年	1,596	4.50	平成7年	2,004	3.10			

◆集落別世帯数及び人口の推移

(資料：国勢調査)

区分 集落	平成7年				平成12年				平成17年				平成22年				平成27年			
	世帯数	男	女	計(人)	世帯数	男	女	計(人)	世帯数	男	女	計(人)	世帯数	男	女	計(人)	世帯数	男	女	計(人)
茶 花	680	971	1,059	2,030	724	992	1,076	2,068	724	928	1,026	1,954	691	896	955	1,851	742	907	994	1,901
立 長	179	286	320	606	195	279	330	609	206	268	304	572	199	257	268	525	201	251	243	494
城	143	196	218	414	144	188	206	394	141	170	184	354	126	144	157	301	142	162	160	322
朝 戸	138	219	247	466	140	201	221	422	144	198	203	401	145	167	188	355	144	160	172	332
西 区	113	168	188	356	102	149	167	316	113	153	166	319	100	129	147	276	101	123	125	248
東 区	249	380	418	798	255	384	432	816	247	354	383	737	240	329	350	679	225	304	346	650
古 里	138	222	226	448	139	221	213	434	139	202	201	403	136	191	188	379	136	173	168	341
叶	94	133	129	262	94	131	116	247	81	105	90	195	80	100	88	188	85	91	86	177
那 間	270	404	426	830	270	388	405	793	292	384	412	796	290	364	409	773	280	338	383	721
計	2,004	2,979	3,231	6,210	2,063	2,933	3,166	6,099	2,082	2,762	2,969	5,731	2,007	2,577	2,750	5,327	2,056	2,509	2,677	5,186

◆産業別就業者数 (15歳以上)

(資料：国勢調査)

産 業 分 類	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
農 業	985	911	953	896	988	887	732	796
林 業 ・ 狩 猟 業	0	0	0	0	0	0	0	0
漁 業	34	44	38	48	55	62	46	50
鉱 業	1	2	0	0	0	0	0	3
建 設 業	251	224	269	345	321	303	227	263
製 造 業	1,113	930	520	213	165	191	142	144
卸 売 ・ 小 売 ・ 飲 食 店	439	434	421	376	430	572	492	519
金 融 ・ 保 険 ・ 不 動 産 業	10	13	17	20	12	14	23	21
運 輸 通 信 業	103	132	116	93	107	96	109	95
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	18	20	22	28	24	18	16	23
サ ー ビ ス 業	570	554	650	691	779	693	655	750
公 務	122	133	140	173	161	153	152	158
分 類 不 能 の 産 業	0	0	0	0	0	1	10	3
総 数 (人)	3,646	3,397	3,146	2,883	3,042	2,990	2,604	2,825

◆年齢別人口

(資料：国勢調査)

区分(歳)	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	計(人)
昭和40年	848	1,032	1,020	239	232	335	479	502	740	661	544	383	166	7,181
昭和45年	655	843	1,008	549	277	284	347	449	840	678	585	409	171	7,095
昭和50年	640	670	840	584	347	379	325	344	935	683	577	433	214	6,971
昭和55年	623	716	706	505	398	555	440	362	840	813	632	464	266	7,320
昭和60年	626	634	707	416	221	513	554	436	729	931	654	485	316	7,222
平成2年	409	622	588	418	159	316	475	524	713	797	762	546	375	6,704
平成7年	303	432	606	334	133	205	358	466	873	676	837	565	422	6,210
平成12年	309	339	434	395	137	233	271	392	974	683	734	667	529	6,097
平成17年	282	302	317	271	89	231	292	283	846	868	667	737	546	5,731
平成22年	234	251	275	197	69	184	281	272	631	942	643	677	671	5,327
平成27年	250	265	255	182	59	151	259	302	544	815	820	578	706	5,186

※平成12年国勢調査において年齢不詳者2人

◆人口動態 (1月1日～12月31日)

(資料：町民福祉課)

	自然動態			社会動態			差引増減(人)
	出 生	死 亡	自然増(人)	転 入	転 出	社会増(人)	
平成9年	53	50	3	390	447	△ 57	△ 54
平成10年	58	52	6	335	414	△ 79	△ 73
平成11年	51	60	△ 9	410	396	14	5
平成12年	45	61	△ 16	389	419	△ 30	△ 46
平成13年	64	70	△ 6	348	442	△ 94	△ 100
平成14年	54	76	△ 22	382	448	△ 66	△ 88
平成15年	59	59	0	371	435	△ 64	△ 64
平成16年	46	69	△ 23	347	449	△ 102	△ 125
平成17年	41	83	△ 42	308	341	△ 33	△ 75
平成18年	59	70	△ 11	330	343	△ 13	△ 24
平成19年	43	76	△ 33	312	358	△ 46	△ 79
平成20年	63	86	△ 23	323	371	△ 48	△ 71
平成21年	39	67	△ 28	307	396	△ 89	△ 117
平成22年	47	80	△ 33	317	361	△ 44	△ 77
平成23年	51	73	△ 22	268	265	3	△ 19
平成24年	48	68	△ 20	298	266	32	12
平成25年	55	75	△ 20	270	284	△ 14	△ 34
平成26年	51	78	△ 27	254	269	△ 15	△ 42
平成27年	40	84	△ 44	279	277	2	△ 42
平成28年	47	97	△ 50	290	308	△ 18	△ 68

選 挙

◆校区別・男女別選挙人名簿登録者数 (平成29年9月1日現在)

(資料：選挙管理委員会)

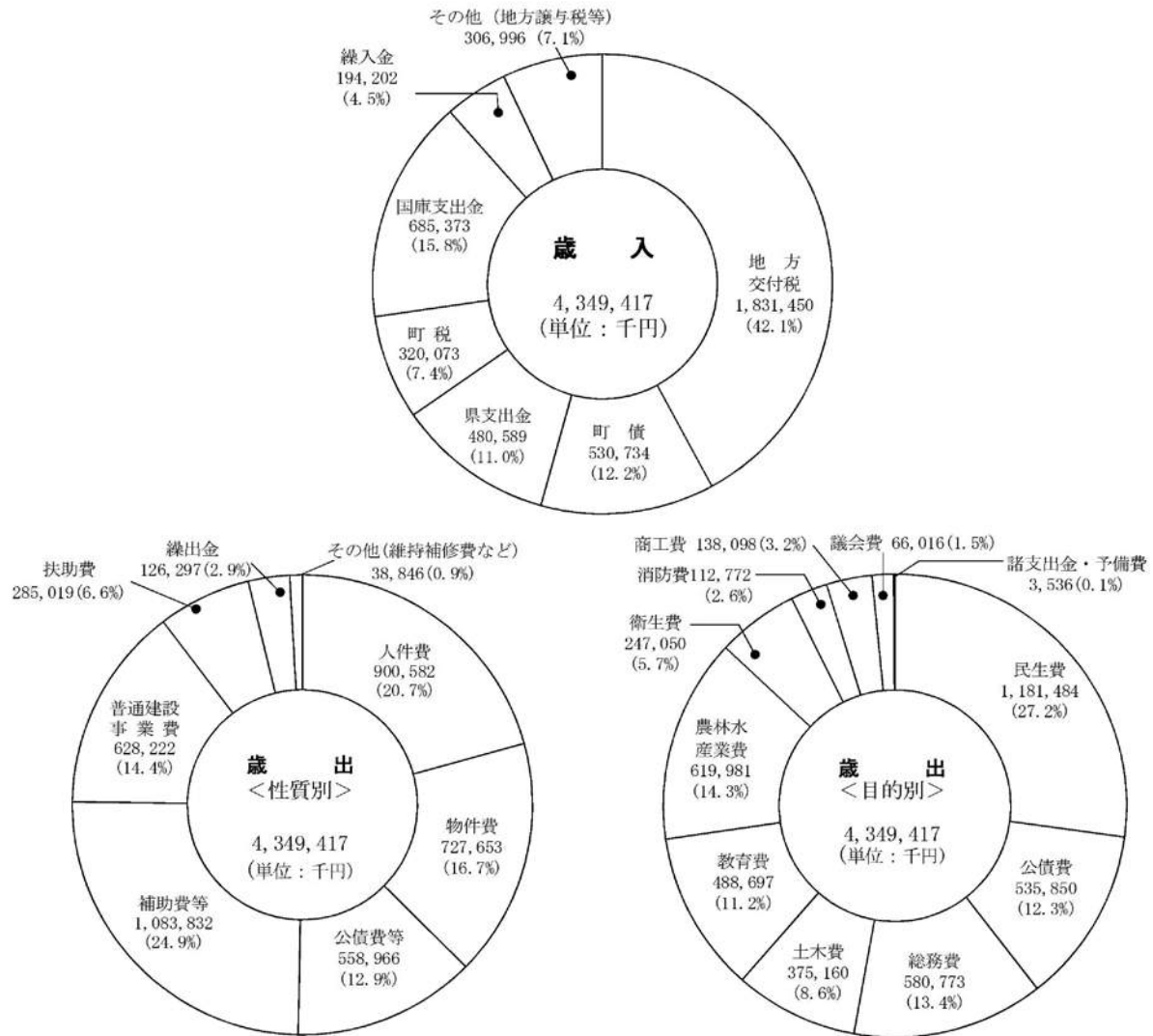
校 区	男	女	計(人)
茶花校区	925	987	1,912
与論校区	653	691	1,344
那間校区	526	578	1,104
計	2,104	2,256	4,360

◆過去の選挙状況

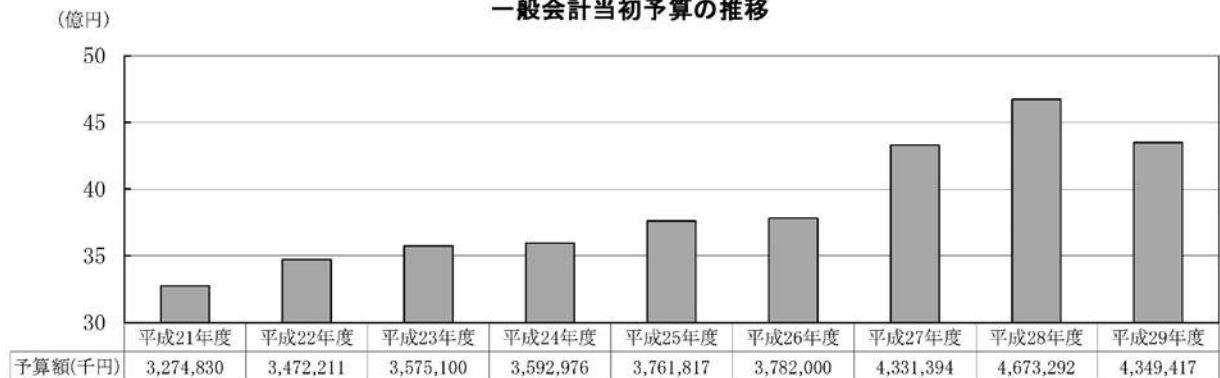
種 別	執行日	有権者数(人)	投票率(%)	種 別	執行日	有権者数(人)	投票率(%)
農 委 選	平成8年7月7日	3,095	81.39	県 議 選	平成19年4月8日	4,605	無投票
知 事 選	平成8年7月28日	4,652	53.70	参 議 選	平成19年7月29日	4,656	74.72
町 議 選	平成8年8月25日	4,657	87.93	町 長 選	平成19年9月9日	4,571	90.07
衆 議 選	平成8年10月20日	4,714	84.09	農 委 選	平成20年6月22日	2,781	無投票
参 議 選	平成10年7月12日	4,690	80.32	知 事 選	平成20年7月13日	4,502	56.75
県 議 選	平成11年4月11日	4,713	82.69	町 議 選	平成20年8月31日	4,569	87.87
農 委 選	平成11年7月11日	3,088	80.31	衆 議 選	平成21年8月30日	4,557	87.36
町 長 選	平成11年9月12日	4,737	91.67	参 議 選	平成22年7月11日	4,536	73.85
町 議 選	平成11年9月12日	4,737	91.67	農 委 選	平成23年7月3日	2,527	無投票
衆 議 選	平成12年6月25日	4,727	88.49	町 長 選	平成23年9月4日	4,455	84.31
知 事 選	平成12年7月16日	4,644	51.61	知 事 選	平成24年7月8日	4,394	58.85
町 議 選	平成12年8月27日	4,726	90.39	議 員 選	平成24年9月2日	4,472	86.55
参 議 選	平成13年7月29日	4,794	74.76	衆 議 選	平成24年12月16日	4,474	79.86
農 委 選	平成14年7月7日	3,202	無投票	参 議 選	平成25年7月21日	4,454	70.77
県 議 選	平成15年4月13日	4,592	74.63	衆 議 補 選	平成26年4月27日	4,423	63.98
町 長 選	平成15年9月14日	4,686	無投票	農 委 選	平成26年7月6日	2,551	無投票
衆 議 選	平成15年11月9日	4,686	86.38	衆 議 選	平成26年12月14日	4,418	66.18
合併を問う住民投票	平成15年11月30日	4,954	83.47	県 議 選	平成27年4月12日	4,406	63.96
参 議 選	平成16年7月11日	4,662	78.10	町 長 選	平成27年9月6日	4,376	88.55
知 事 選	平成16年7月11日	4,579	79.47	参 議 選	平成28年7月10日	4,422	68.29
町 議 選	平成16年8月22日	4,627	88.42	知 事 選	平成28年7月10日	4,384	68.80
農 委 選	平成17年7月10日	2,792	80.52	町 議 選	平成28年8月28日	4,405	82.88
衆 議 選	平成17年9月10日	4,671	87.60	衆 議 選	平成29年10月22日	4,358	70.53

平成29年度 当初予算のあらまし

一般会計 43億4,941万7千円



一般会計当初予算の推移



特別会計 17億9,491万1千円

会計名	予算額(千円)	説明
国民健康保険(事業勘定)	996,504	国民健康保険被保険者の医療費関係予算
と畜場	274	と畜場の運営予算
介護保険	695,837	介護保険制度の運営予算
農業集落排水	31,567	農業集落排水事業の予算
後期高齢者医療	70,729	後期高齢者医療制度の運営予算

水道事業会計 1億89,05万8千円

会計名	予算額(千円)	説明
水道事業収益	189,058	水道料金等の収入
水道事業費用	189,058	水道維持管理等の予算
資本的収入	351	加入分担金の予算
資本的支出	108,404	水道施設工事等の予算

決算の状況（一般会計）

（資料：決算効果表）

歳 入

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
町 税	327,410	7.6	339,665	7.0	320,687	7.1	331,877	6.6	341,710	6.3
地 方 譲 与 税	36,902	0.9	35,079	0.7	36,129	0.8	37,847	0.7	37,450	0.7
利 子 割 交 付 金	481	0.1	531	0.0	496	0.0	438	0.0	226	0.0
配 当 割 交 付 金	287	0.0	362	0.0	1,419	0.0	871	0.0	564	0.0
株 式 譲 渡 所 得 交 付 金	67	0.0	615	0.1	975	0.0	885	0.0	327	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	43,595	1.0	43,223	0.9	53,055	1.2	95,455	1.9	86,470	1.6
自 動 車 取 得 税 交 付 金	5,905	0.1	5,308	0.1	2,396	0.1	3,604	0.1	4,521	0.1
地 方 特 例 交 付 金	62	0.0	64	0.0	109	0.0	202	0.0	230	0.0
地 方 交 付 税	2,202,792	51.0	2,360,073	48.3	2,294,123	51.0	2,337,467	46.2	2,349,722	43.4
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	735	0.0	707	0.0	621	0.0	645	0.0	686	0.0
分 担 金 及 び 負 担 金	23,346	0.5	33,327	0.7	29,955	0.7	38,632	0.8	25,423	0.5
使 用 料 及 び 手 数 料	35,363	0.8	35,716	0.7	37,847	0.8	42,356	0.8	42,083	0.8
国 庫 支 出 金	344,449	8.0	269,713	5.5	407,801	9.1	812,266	16.0	831,606	15.4
県 支 出 金	344,067	8.0	601,062	12.3	313,221	7.0	474,830	9.4	361,866	6.7
財 産 収 入	20,367	0.5	19,501	0.4	19,765	0.4	18,874	0.4	21,106	0.4
寄 付 金	1,246	0.0	1,500	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰 入 金	439,599	10.2	255,229	5.2	262,199	5.8	29,412	0.6	6,457	0.1
繰 越 金	1,113	0.0	232,428	4.8	87,259	1.9	97,239	1.9	154,124	2.8
諸 収 入	100,034	2.3	94,699	1.9	92,349	2.1	100,899	2.0	136,207	2.5
町 債	387,867	9.0	554,855	11.4	538,916	12.0	639,468	12.6	1,015,394	18.7
歳 入 合 計	4,315,687	100.0	4,883,657	100.0	4,499,323	100.0	5,063,267	100.0	5,416,172	100.0

歳 出

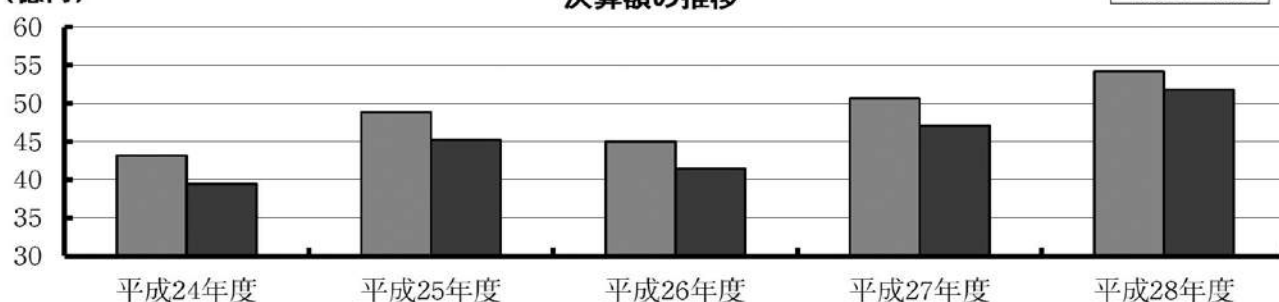
（単位：千円）

区 分 \ 年 度	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
議 会 費	78,461	2.0	73,243	1.6	73,828	1.8	76,145	1.6	67,364	1.3
総 務 費	588,651	14.9	575,946	12.7	505,577	12.2	562,470	11.9	546,573	10.6
民 生 費	919,622	23.3	1,017,750	22.5	959,373	23.1	1,034,221	22.0	1,058,315	20.4
衛 生 費	371,082	9.4	551,638	12.2	327,654	7.9	723,223	15.4	948,801	18.3
農 林 水 産 業 費	360,242	9.1	431,166	9.5	388,498	9.4	613,576	13.0	718,660	13.9
商 工 費	130,623	3.3	135,442	3.0	168,530	4.1	197,384	4.2	195,325	3.8
土 木 費	270,874	6.9	516,287	11.4	392,731	9.5	439,797	9.3	304,726	5.9
消 防 費	134,478	3.4	115,343	2.6	216,380	5.2	108,548	2.3	108,606	2.1
教 育 費	452,678	11.5	471,006	10.4	479,538	11.6	366,382	7.8	544,153	10.5
災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公 債 費	639,198	16.2	583,566	12.9	595,797	14.4	555,464	11.8	527,684	10.2
諸 支 出 金	966	0.0	50,655	1.2	34,275	0.8	32,649	0.7	156,542	3.0
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	3,946,875	100.0	4,522,042	100.0	4,142,183	100.0	4,709,859	100.0	5,176,749	100.0

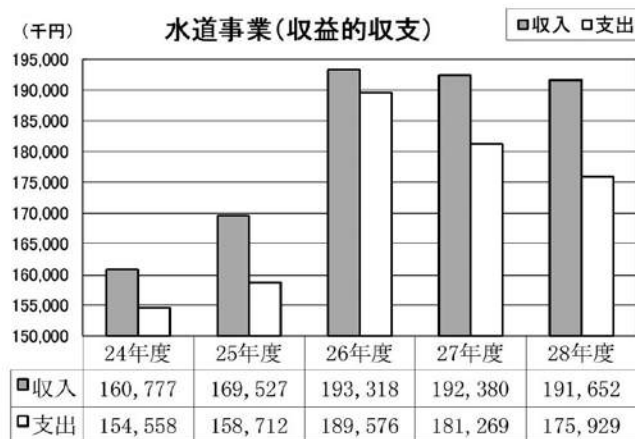
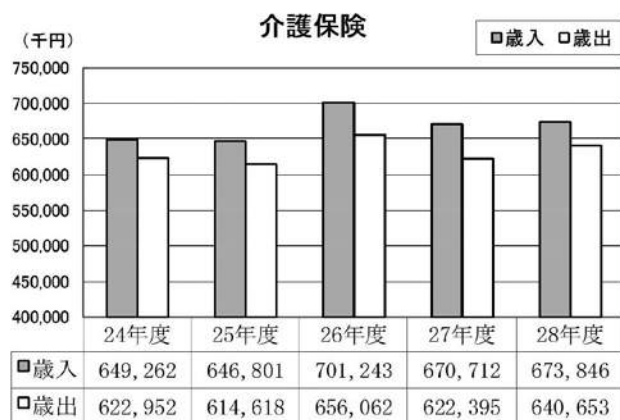
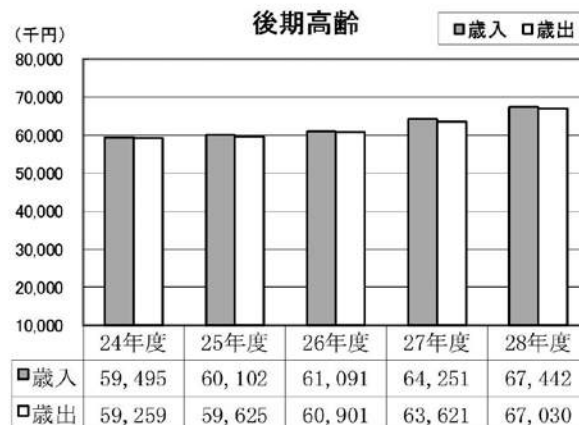
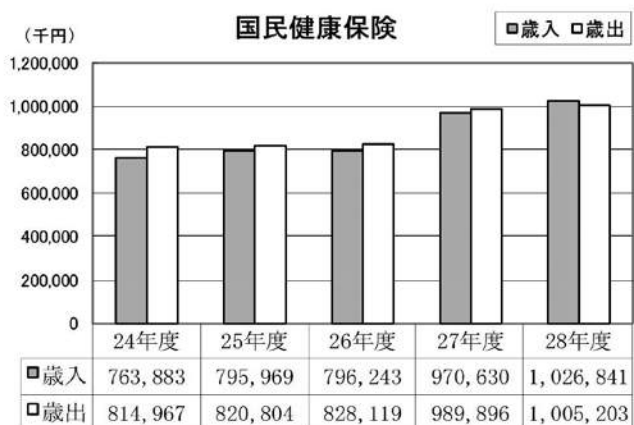
（億円）

決算額の推移

■歳入 ■歳出



特別会計決算額の推移



淡水化施設(平成13年供用開始)

その他の特別会計の決算額(平成28年度)

会計名	歳入(千円)	歳出(千円)
農業集落排水事業	24,109	24,109
と畜場	161	161

地方債現在高の状況

(資料：総務企画課) (単位：千円)

区 分	平成27年度 末現在高 (A)	平成28年度 発 行 額 (B)	平成28年度元利償還額			Dの財源内訳		差引現在高 (A)+(B)-(C)=(E)	平成28年度末 財 源 対 策 債 現 在 高		(E)の借入先別内訳	
			元金(C)	利子	計(D)	特定財源	一般財源等				政府資金	その他
1 公共事業等債	667,132		110,566	10,860	121,426		121,426	556,566			556,566	
うち財源対策債等	473,839		69,423	7,747	77,170		77,170	404,416			404,416	
2 公営住宅建設事業債	497,360		22,283	7,239	29,522	16,047	13,475	475,077			475,077	
うち復旧・復興事業分												
うち(旧)緊急防災・減災事業分												
3 災害復旧事業債	66,187		7,008	244	7,252		7,252	59,179			59,179	
(1)単独災害復旧事業債	66,187		7,008	244	7,252		7,252	59,179			59,179	
(2)補助災害復旧事業債												
4 (旧)緊急防災・減災事業債	47,700			143	143		143	47,700				47,700
(1)補助・直轄事業												
(2)継ぎ足し単独事業	47,700			143	143		143	47,700				47,700
(3)緊急防災・減災事業計画に基づく単独事業												
5 全国防災事業債	31,500			95	95		95	31,500			31,500	
6 教育・福祉施設等整備事業債	522,545	5,400	43,554	6,904	50,458		50,458	484,391	67,366		455,388	29,003
(1)学校教育施設等整備事業債	257,711		23,721	4,972	28,693		28,693	233,990	31,451		218,387	15,603
(2)社会福祉施設整備事業債												
(3)一般廃棄物処理事業債	251,434		19,833	1,871	21,704		21,704	231,601	35,915		231,601	
(4)一般補助施設整備等事業債	13,400	5,400		61	61		61	18,800			5,400	13,400
うち転貸債												
(5)施設整備事業債(一般財源化分)												
7 一般単独事業債	45,449		18,358	607	18,965		18,965	27,091			24,244	2,847
うち地域総合整備事業債												
うち旧地域総合整備事業債(継続事業分)												
うち地域活性化事業債												
(1)転用事業分												
うち防災対策事業債												
うち旧合併特例事業債												
(1)旧市町村合併特例事業債												
(2)旧市町村合併推進事業債												
うち地方道路整備事業債	3,753		909	74	983		983	2,844				2,844
うち一般事業債(河川等分)												
うち一般事業債(臨時高等学校改築等分)												
うち一般事業債(被災施設復旧関連事業分)												
うち一般事業債(除却事業分)												
うち地域再生事業債												
うち日本新生緊急基盤整備事業債												
うち臨時経済対策事業債	1,916		1,916	33	1,949		1,949					
うち復旧・復興事業分												
うち(新)緊急防災・減災事業債												
うち公共施設最適化事業債												
8 辺地対策事業債	920,920	195,400	138,162	4,590	142,752		142,752	978,158			978,158	
9 過疎対策事業債	503,007	710,600	2,526	642	3,168		3,168	1,211,081			1,211,081	
10 公共用地先行取得等事業債												
11 行政改革推進債												
12 厚生福祉施設整備事業債												
13 地域財政特例対策債												
14 退職手当債(～平成17年度分)												
15 退職手当債(平成18年度～)												
16 国の予算貸付・政府関係機関貸付債												
うち転貸によるもの												
うち地方道路整備臨時貸付金												
17 地域改善対策特定事業債												
うち法第5条によるもの												
18 財源対策債	75,122		7,756	995	8,751		8,751	67,366			67,366	
19 減収補てん債 (昭和61・平成5～7・9～28年度分)												
20 臨時財政特例債												
21 公共事業等臨時特例債												
22 減収補てん債	14,032		2,537	129	2,666		2,666	11,495			11,495	
23 臨時税収補てん債	4,144		2,629	73	2,702		2,702	1,515			1,515	
24 臨時財政対策債	1,553,814	100,594	104,676	12,563	117,239		117,239	1,549,732			1,016,621	533,111
25 調整債(昭和60～63年度分)												
26 減収補てん債特例分 (平成14・19～28年度分)												
27 都道府県貸付金	56,033	3,400	7,488	70	7,558		7,558	51,945				51,945
うち予算貸付によるもの	56,033	3,400	7,488	70	7,558		7,558	51,945				51,945
28 その他	173,545		11,943	2,986	14,929		14,929	161,602			67,619	93,983
合 計 (1～28)	5,178,490	1,015,394	479,486	48,140	527,626	16,047	511,579	5,714,398	67,366		4,955,809	758,589
うち財源対策債等	548,961		77,179	8,742	85,921		85,920	471,782			471,783	
うち減収補てん債												

町税の状況 (平成28年度現年課税分) 人口 5,269人 世帯数 2,548戸 (平成29年3月31日現在) (資料：平成28年度歳入歳出決算書)

税 目	調定額A(千円)	町民1人当たり(円)	町民1世帯当たり(円)	徴収金額B(千円)	徴収率B/A×100
町 民 税	146,430	27,791	57,469	138,240	94.4
固 定 資 産 税	158,536	30,088	62,220	140,500	88.6
軽自動車税	22,924	4,351	8,997	22,498	98.1
町たばこ税	40,472	7,681	15,884	40,472	100.0
計	368,362	69,911	144,569	341,710	92.8

国民健康保険税の状況 (平成28年度現年課税分)

(資料：税務課)

調定額A (千円)	1人当たり (円)	1世帯当たり (円)	徴収金額B (千円)	徴収率		被保険者	
				B/A×100(%)		被保険者数(人)	世帯数(戸)
一 般 分 153,859	74,870	132,523	149,760	97.34		2,053	1,161
退職者分 5,438	120,843	181,264	5,428	99.81		45	30
計 159,297	75,928	133,751	155,188	97.42		2,098	1,191

(退職者は混合世帯者含む、被保険者欄は平成29年3月31日現在)

所得

(資料：平成26年度市町村民所得推計報告書)

町内総生産額の推移

(単位：百万円，%)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	実額	構成比	実額	構成比	実額	構成比
第1次産業	772	5.8%	789	5.9%	926	6.9%
農業	682	5.1%	722	5.4%	850	6.3%
林業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
水産業	89	0.7%	66	0.5%	76	0.6%
第2次産業	1,259	9.5%	1,254	9.3%	1,020	7.6%
鉱業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
製造業	472	3.5%	380	2.8%	339	2.5%
建設業	787	5.9%	874	6.5%	681	5.0%
第3次産業	11,187	84.1%	11,262	84.0%	11,411	84.6%
電気・ガス・水道業	247	1.9%	301	2.2%	326	2.4%
卸売・小売業	812	6.1%	800	6.0%	799	5.9%
金融・保険業	122	0.9%	120	0.9%	116	0.9%
不動産業	1,676	12.6%	1,632	12.2%	1,620	12.0%
運輸業	732	5.5%	693	5.2%	683	5.1%
情報通信業	504	3.8%	543	4.0%	571	4.2%
サービス業	3,559	26.7%	3,601	26.9%	3,660	27.1%
政府サービス生産者	3,126	23.5%	3,177	23.7%	3,253	24.1%
電気・ガス・水道業	240	1.8%	239	1.8%	226	1.7%
サービス業	926	7.0%	901	6.7%	925	6.9%
公務	1,960	14.7%	2,038	15.2%	2,101	15.6%
対家計民間非営利サービス生産者	408	3.1%	394	2.9%	383	2.8%
サービス業	408	3.1%	394	2.9%	383	2.8%
輸入品に課される税・関税	159	1.2%	178	1.3%	240	1.8%
(控除) 総資本形成に係る消費税	69	0.5%	73	0.5%	104	0.8%
(控除) 帰属利子	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
町内総生産	13,308	100.0%	13,410	100.0%	13,493	100.0%

●用語解説

町内総生産

町内総生産とは、一定期間内に町内の生産活動によって、新たに生み出された価値（付加価値）の評価額を示したもので、産出額から原材料・光熱費など生産の過程で消費された財貨・サービスを控除したものに当たる。

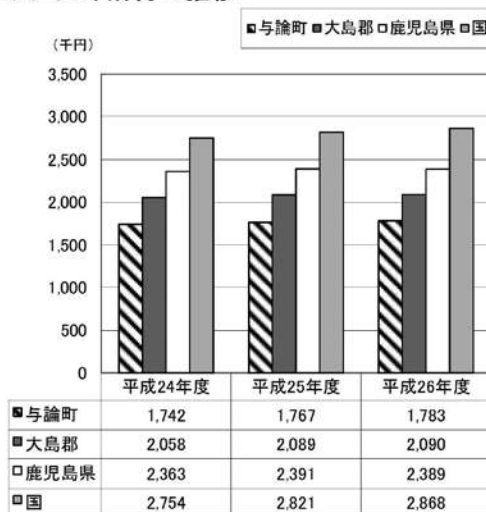
対家計民間非営利サービス生産者

対家計民間非営利サービス生産者とは、他の方法では効率的に提供し得ない社会的、公共的サービスを、利益追求を旨とすることなく家計へ提供する生産者を対家計民間非営利団体といい、これを生産者として把握する場合、対家計民間非営利サービス生産者という。対家計民間非営利団体は、ある特定の目的を遂行するために集まった個人の自発的な団体であり、その活動は通常会員や家計、企業、政府からの寄付、補助金によってまかなわれる。労働組合、政党、宗教団体のほか、私立学校のすべてがこれに含まれる。

帰属利子

帰属利子とは、金融業の生産額を定義するための特殊な帰属計算項目であり、金融業の受取利子及び配当と支払利子の差額を指す。利子は、主として他産業の付加価値から支払われたものであるから、それを再び生産としてとりあげることは二重計算になるが、この帰属計算をせずに金融業の生産額を手数料のみとすると営業余剰あるいは付加価値までも負となり活動実態に合わないものになってしまう。そこで所得推計では、本来の産出額に帰属利子分を加算し、金融業の付加価値がプラスになるようにしたあと帰属利子というダミー産業を設けてふくらんだ分を除くという工夫がなされている。

1人当たり所得の推移



平成26年度大島郡内の所得指標

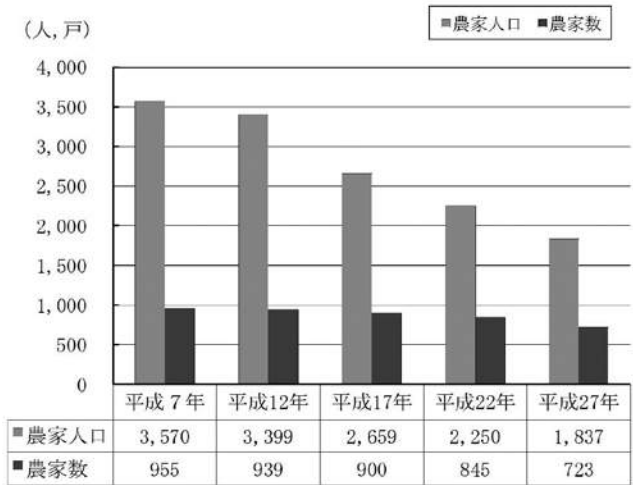
(単位：人，千円)

市町村名	人口	総 額		人口1人当たり	
		総 生 産	所 得	総生産	所得
奄 美 市	43,809	128,632,855	100,146,190	2,936	2,286
大 和 村	1,592	4,571,020	2,853,472	2,871	1,792
宇 検 村	1,773	7,980,795	4,440,165	4,501	2,504
瀬戸内町	9,190	26,678,771	19,111,733	2,903	2,080
龍 郷 町	5,820	17,530,708	11,839,375	3,012	2,034
喜 界 町	7,368	19,721,947	14,428,040	2,677	1,958
徳之島町	11,328	35,159,782	23,658,156	3,104	2,088
天 城 町	6,107	16,515,515	10,464,081	2,704	1,713
伊 仙 町	6,469	15,086,318	9,630,486	2,332	1,489
和 泊 町	6,824	23,803,175	14,742,513	3,488	2,160
知 名 町	6,347	18,412,080	13,177,660	2,901	2,076
与 論 町	5,232	13,492,596	9,330,768	2,579	1,783
大 島 郡	111,859	327,585,562	233,822,639	2,929	2,090

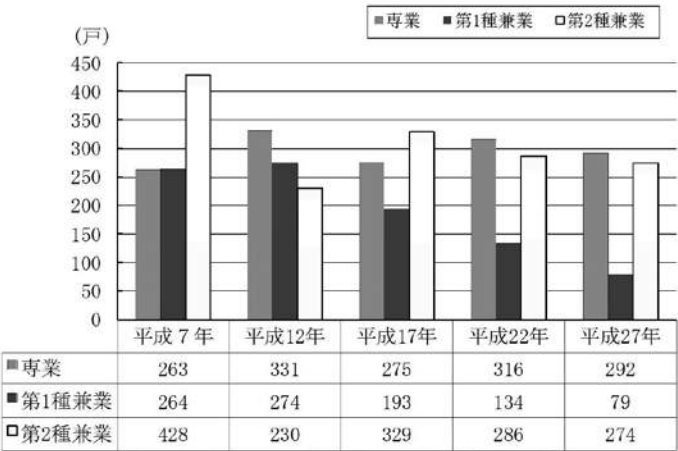
農 業

(資料：農林業センサス)

農家人口及び農家数の推移



主副業別農家数の推移



第1種兼業・・・農業を主に、副業を持つ農家
第2種兼業・・・農業を副業とする農家

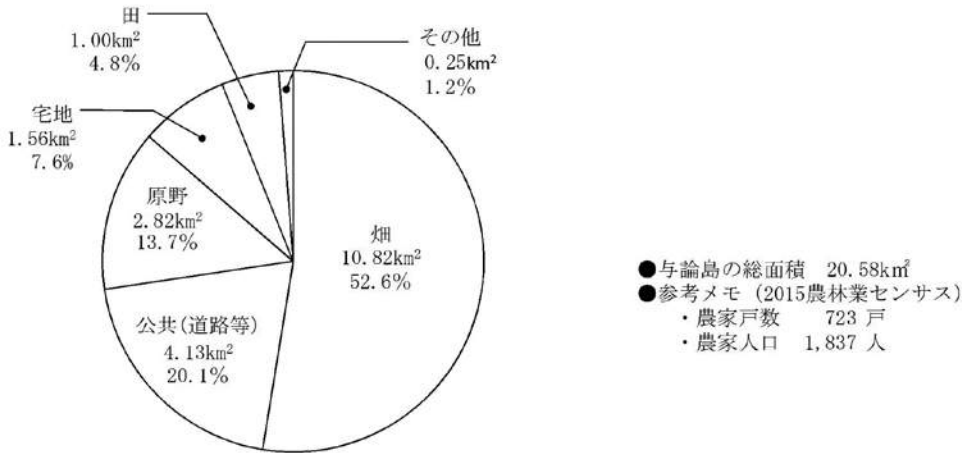
平成27年 主副業別農家数及び割合

(資料：2015年農林業センサス)

自給の農家		販売農家 645戸 89%				農家数 723戸
78戸	専業農家 292戸	兼業農家 353戸 49%				
11%	40%	第1種兼業農家 79戸 11%	第2種兼業農家 274戸 38%			

土地の利用状況

(資料：平成28年度固定資産税概要調査)



経営規模別農家戸数 (平成29年3月31日現在)

(資料：産業振興課)

耕地面積	1戸当り 平均面積	0.3ha未満	～1ha	～2ha	～3ha	～5ha	～10ha
811ha	1.2ha	8戸	302戸	248戸	56戸	29戸	8戸

担い手農家及び認定農業者数の推移 (平成29年3月31日現在)

(資料：産業振興課)

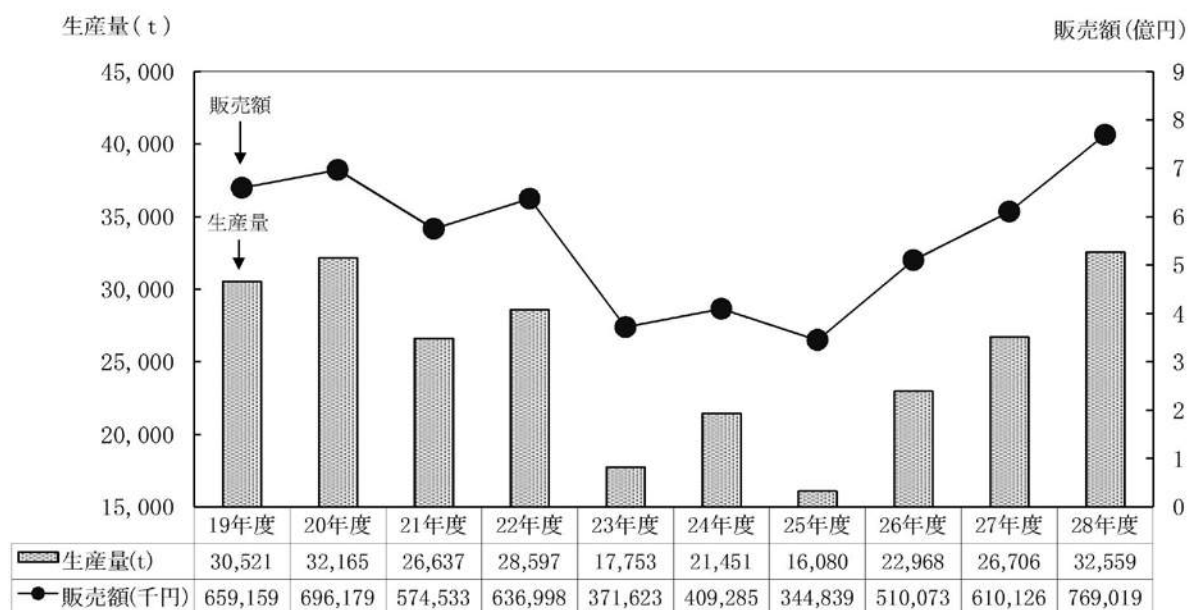
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
認定者数	115	114	112	113	107	101	104

あまみ農業協同組合与論支所の状況 (平成29年3月31日現在)

役員数			組合員数		
常勤理事	非常勤理事	非常勤監事	正組合員	準組合員	合計
0	2	1	1,184	347	1,531

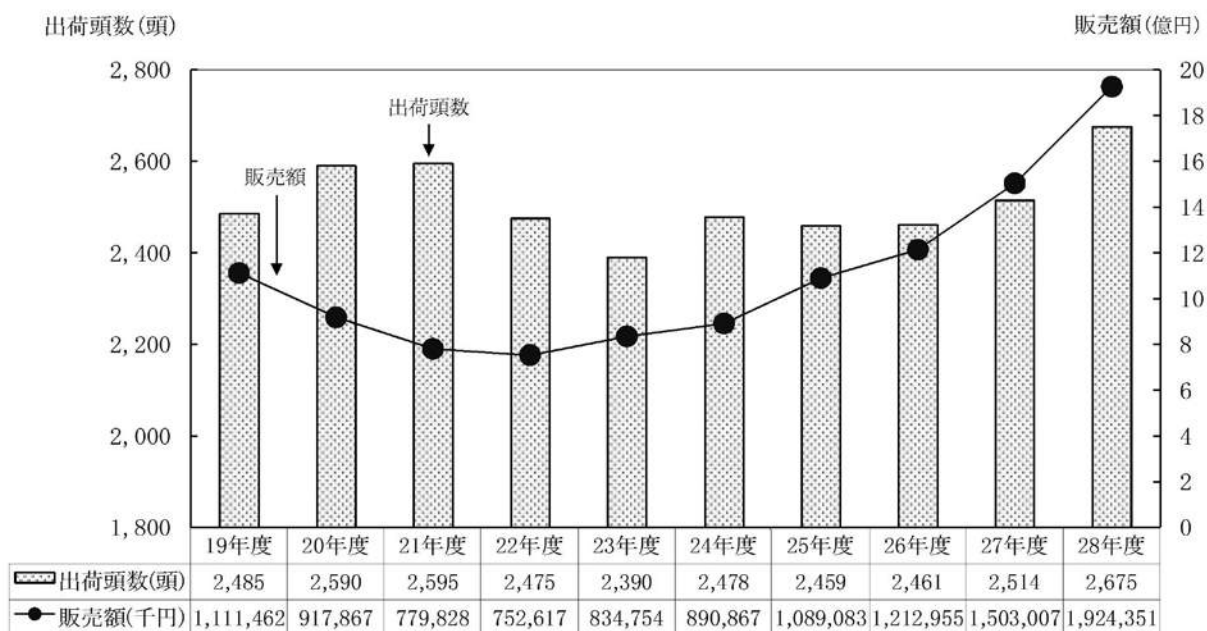
さとうきびの生産量と販売額の推移

(資料：産業振興課)



畜産（子牛、成牛、山羊）の出荷頭数と販売額の推移

(資料：産業振興課)



主要作目10 a 当たり販売実績（平成28/29年農協共販額）

(資料：産業振興課)

作 目	項 目	生産戸数 (戸)	面積 (h a)	出荷量	出荷額 (千円)	10 a 当たり	
						出荷量	出荷額(千円)
さとうきび		650	423	32,559 t	769,019	7.6 t	182
畜産（子牛）		289	375	2,546 頭	1,889,980	1 頭	742
畜産（成牛）				129 頭	34,371	1 頭	266
サトイモ		174	25	289 t	172,404	1.2 t	690
インゲン		141	20	179 t	155,438	0.9 t	777
ニガウリ		13	1.7	74 t	32,929	4.4 t	1,937
ソリダゴ		7	1.17	48 万本	21,053	4.1 万本	1,799
トルコギキョウ		5	0.68	15 万本	12,758	2.2 万本	1,876
計（農業生産額）					3,087,952		

花卉園芸作物品目別生産実績（平成28年度）

（資料：産業振興課）

切り花

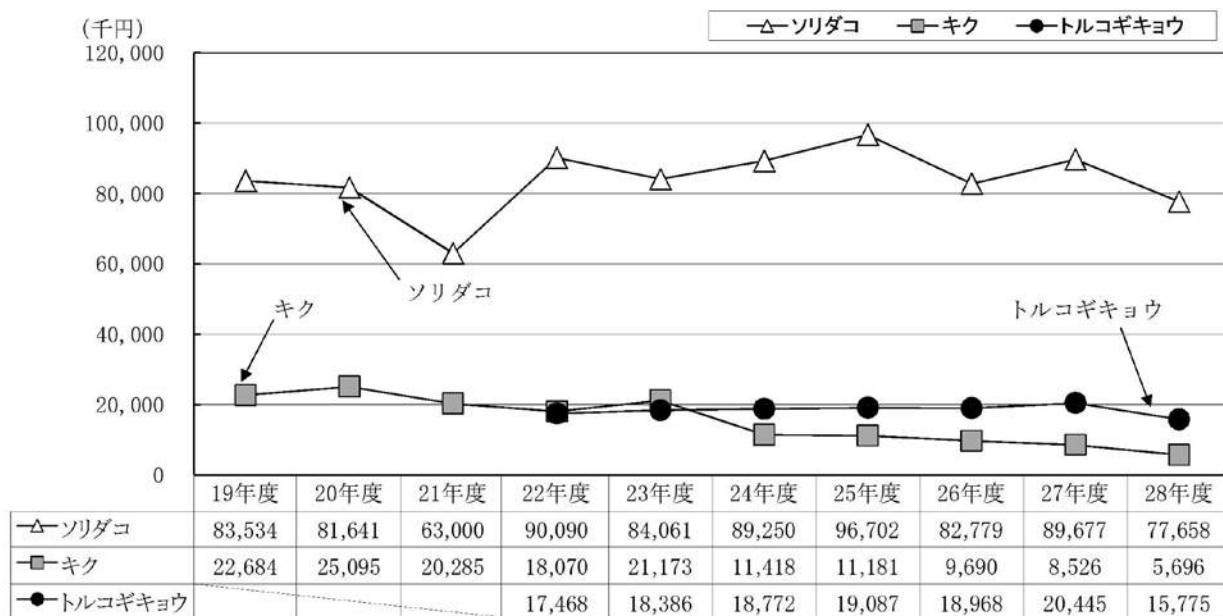
品 目	面 積 (ha)	生 産 量 (千本)	平均単価 (円/本)	販 売 額 (千 円)
ソリダコ	2.7	1,779	43	77,658
キ ク	0.4	162	35	5,696
トルコギキョウ	0.8	183	86	15,775
そ の 他	0.6	66	113	7,486
合 計	4.5	2,210		106,615

輸送野菜

品 目	面 積 (ha)	反 収 (kg)	生 産 量 (t)	平均単価 (円/kg)	販 売 額 (千 円)
石 川 さといも	25	1,157	289.3	596	172,404
いんげん	20	896	179.2	867	155,438
にがうり	1.7	4,363	74.6	441	32,929
そ の 他 の 野 菜	1.0		6.0		3,612
合 計	47.7		549.1		364,383

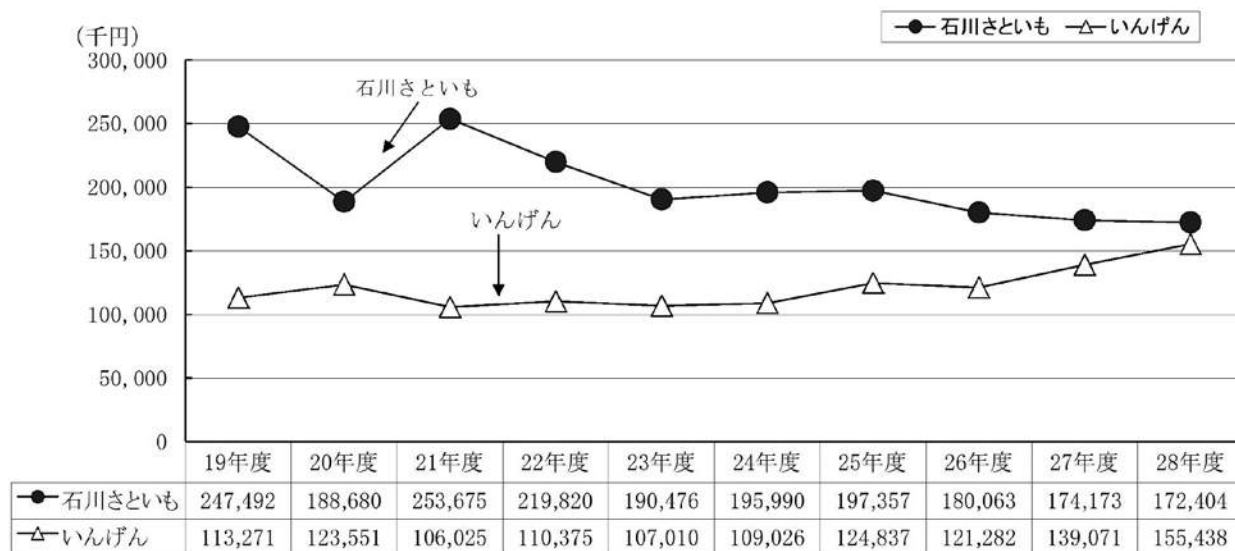
花卉販売額の推移

（資料：産業振興課）



輸送野菜販売額の推移

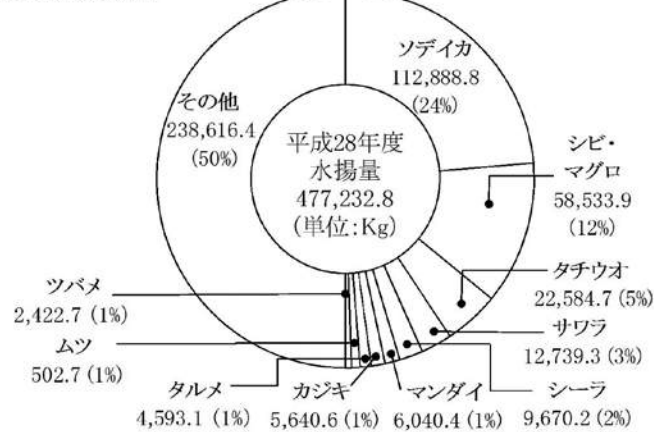
（資料：産業振興課）



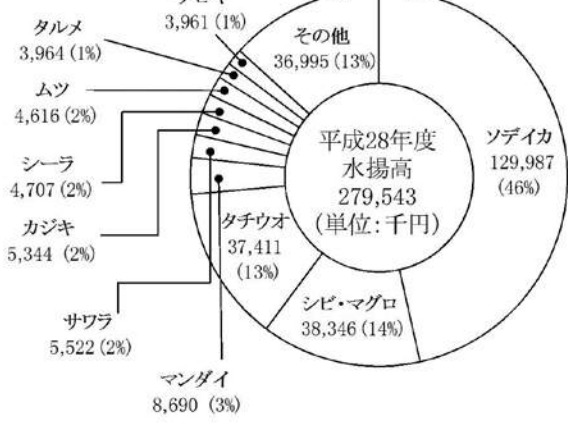
水産業

(資料：漁協総会資料)

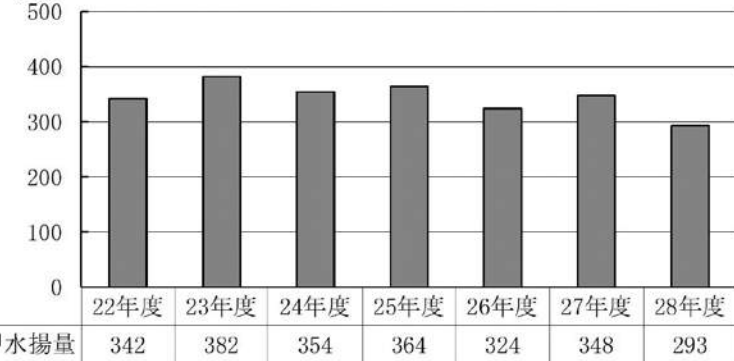
魚種別水揚量



魚種別水揚高

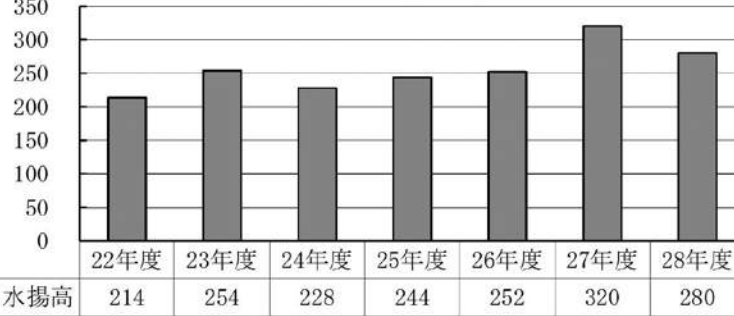


水産物水揚量の推移



漁協朝のセリ市

水産物水揚高の推移



茶花漁港

与論町漁業協同組合の状況 (平成29年3月31日現在)

役員数		組合員数		
理事	監事	正組合員	準組合員	合計
6	3	60	223	283

漁港の現況

(資料：建設課)

漁港名	指定年月日	管理者	外かく施設延長 (m)	係留施設延長 (m)	漁港区域内 海岸線延長 (m)
茶花	昭和49年11月26日	与論町	1429.4	478.5	2,485
麦屋	昭和54年2月13日	与論町	515.0	195.0	1,465

商工業

業種別内訳 (平成29年3月31日現在)

(資料：与論町商工会)

業種 区分	建設業	製造業	運送業	不動産業	卸売業	小売業 (飲食店含む)		
						一般小売店	飲食店	計
事業所数	31	23	6	4	6	105	36	141
商工会員数	25	11	4	4	4	54	19	73

サービス業 (飲食店除く)							その他	合計
ホテル・旅館	自動車整備	観光サービス	理容・美容	クリーニング	公衆浴場	計		
24	9	13	23	2	0	71	24	306
12	5	10	6	1	0	34	17	172

空港の現況

名 称	所 在 地	敷地面積	着 陸 帯		供用年月日	管理者
			長さ	幅		
与論空港	与論町立長	23.1ha	1,320m	120m	昭和51年5月1日	鹿児島県

利用状況（平成28年度）

（資料：空港管理事務所）

事 業 所	便	機 種	搭乗可能 人員(人)	路 線	距離(km)	時間(分)	便数/日	平均 利用率
琉球エアコミューター (RAC)	定期	DHC-8-Q100	39	那覇ー与論	110	40	1(2)	89.1%
		DHC-8-Q300	50					83.4%
日本エアコミューター (JAC)	〃	DHC-8-Q400	74	鹿児島ー与論	576	80	1	51.9%
		SAAB-340B	36	※奄美ー与論	203	40	1	72.3%
				沖永良部ー与論	55	25	1	53.1%

※SAAB機は沖永良部経由で奄美大島まで運航
便数の（ ）は最盛期の便数

港湾の現況

（資料：建設課）

	漁 船 溜	接岸能力	本 港	接岸能力
供利地区	防波堤(4ヶ所)	240m	岸壁 190m(-9.0m)	10,000 t
	物揚場	110m(-2.0m)	臨港道路 644m(幅6.5m)	
	船揚場	15m	128m(幅5.0m)	
茶花地区	防波堤(2ヶ所)	60m	岸壁 190m(-9.0m)、90m(-5.5m)	3,000t～ 10,000t
	物揚場	50m(-2.0m)	防波堤 450m	
	船揚場	30m	臨港道路 175m(幅5m)、1,360m(幅5m)	
			1,114m(幅6.5m)	
			離岸堤 188.7m(2基)	

船舶就航状況（平成29年4月1日現在）

航 路 区 間	事 業 所	運 航 船 舶	総トン数
鹿児島～名瀬～亀徳～和泊～与論～本部～那覇	マリックスライン株式会社	クイーンコーラル8	4,945 t
〃	〃	クイーンコーラルプラス	5,910 t
〃	マルエーフェリー株式会社	フェリー波之上	8,072 t
〃	〃	フェリーあけぼの	8,083 t
神戸～大阪～名瀬～亀徳～和泊～与論～那覇	〃	琉球エクスプレス	6,266 t

車両の保有台数（平成29年4月1日現在）

（資料：大島自動車検査登録事務所、税務課）

貨 物 自 動 車				乗 合 自 動 車			乗 用 自 動 車			特 種 (殊) 自 動 車		
普通	小型	被牽引	計	普通	小型	計	普通	小型	計	特種	大型	計
121	165	3	289	3	21	24	122	337	459	61	80	141

軽 自 動 車					小型二輪 (125～250cc)	原付 (125cc以下) (ミニカーを含む)	小型特殊	合計
貨物	乗用	特種	二輪 (250cc以上)	計				
1,408	1,211	4	17	2,640	51	1,764	368	5,736

道路の状況（平成29年4月1日現在）

（単位：m, %）

（資料：建設課）

県 道				町 道			農 道		
実延長	舗装済	舗装率	橋梁	実延長	舗装済	舗装率	実延長	舗装済	舗装率
13,188	13,188	100	12(2カ所)	143,613	129,454	90.19	35,759	10,681	29.87

交通事故死傷者の状況（与論幹部派出所管内）（平成29年9月末現在）

（資料：与論幹部派出所）

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
発生件数	10	8	7	8	9	7	5	15	8	8
死 者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
傷 者	16	8	6	8	9	7	6	15	8	8

(資料：町民福祉課)

医療施設

パナウル診療所 (法人)
与論徳洲会病院 (法人)
龍美クリニック (法人)
児玉歯科医院 (私設)

介護保険関連入所施設 (平成29年4月1日現在)

施設名称	設置主体	入所定員(床)	入所者数
特別養護老人ホーム「ヨロン園」	社会福祉法人	55	55
介護老人保健施設「風花苑」	医療法人	100	88
認知症対応型共同生活介護施設「グループホームゆんぬ」	医療法人	18	18

町内の医療保険従事者数 (平成29年4月1日現在)

	医師	歯科医師	看護師	助産師	保健師	薬剤師	歯科衛生士	検査技師	放射線技師	計
パナウル診療所	1		3							4
与論徳洲会病院	4.9		49			3		2	2.6	61.5
龍美クリニック	2		4							6
児玉歯科		1					3			4
計	7.9	1	56			3	3	2	2.6	75.5

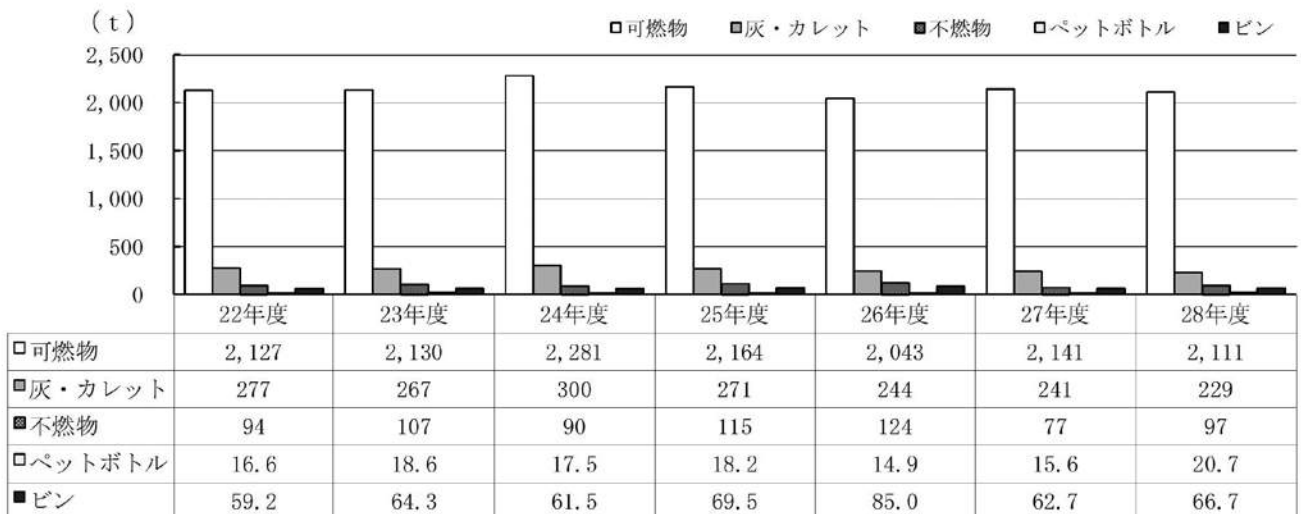
上水道 (平成28年度)

(資料：水道課)

給水状況		普及率 (%)	配水量 (m ³)		
給水件数	給水人口(人)		1日平均	月平均	年総量
2,790	5,264	99.9	1,854	56,404	676,846

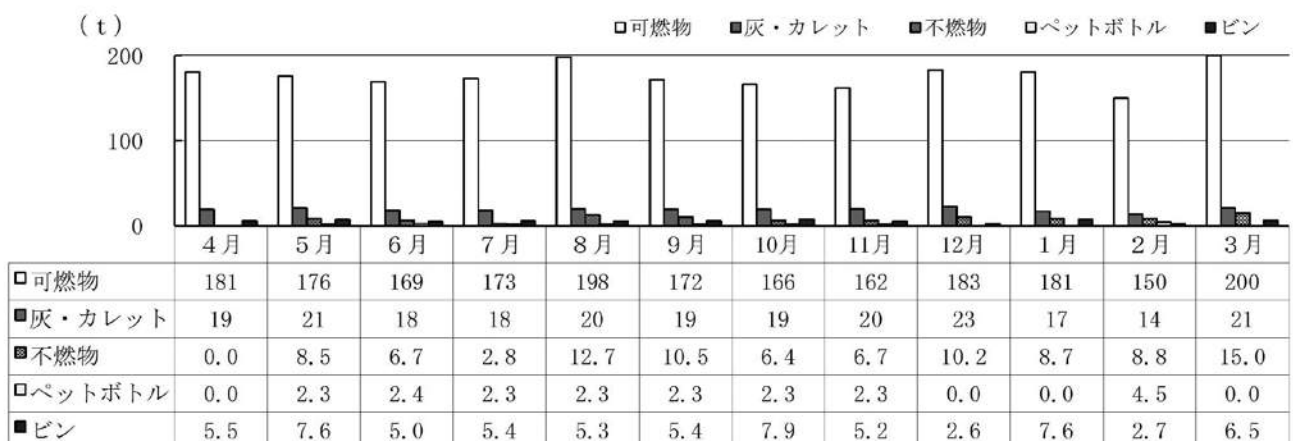
ゴミ処理状況の推移

(資料：環境課)



月別ゴミ処理の状況 (平成28年度)

(資料：環境課)



国民健康保険事業実施状況（平成28年度）

資格区分	被保険者数 (人)	加入率 (%)	被保険者1人当たり(年度)			
			現年度収納分	国県等支出金	受診率/年	療養諸費
一般被保険者	2,039	38.7	73,405円	191,825円	8.85	280,864円
退職被保険者	57	1.1	95,223円	389,561円	11.02	382,274円
全 体	2,096	39.8	74,001円	197,202円	8.91	283,622円

(資料：町民福祉課)

後期高齢者医療実施状況（平成28年度）

資格者数 (人)	加入率 (%)	総医療費 (千円)	被保険者一人当たり	
			受診率/年	療養諸費(円)
1,011	19.17	839,206	11.55	830,076

国民年金加入状況（平成29年3月31日現在）

被保険者(人)			保険料免除者(人)		
第1号	任意	第3号	法定免除	申請免除	計
844	24	251	106	287	393

国民年金保険料（平成29年3月31日現在）

28年度収入額収納額 85,081千円				
年度別の収納率(%)				
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
57.2	62.9	62.4	71.7	70.9

年金受給権者給付状況（平成28年度）（単位：人、千円）

(資料：町民福祉課)

総 計		総計の内訳							
		老齢給付		障害給付		遺族年金		老齢福祉年金	
受給権者数	年金額	受給権者数	年金額	受給権者数	年金額	受給権者数	年金額	受給権者数	年金額
1,748	1,042,031	1,584	902,805	154	131,683	10	7,543	0	0

こども園（平成29年4月1日現在）

(資料：町民福祉課)

名 称	設置年月日	保育士 (人)	措置児童数(人)		
			男	女	計
与論こども園	昭和48年4月1日	7	27	25	52
茶花こども園	昭和54年5月1日	9	28	23	51
那間こども園	昭和61年4月1日	10	13	23	36
ハレルヤこども園(私立)	昭和55年3月31日	16	53	55	108
総 計		42	121	126	247

こども園児童数は保育部と幼稚園部の合計である

老人の現況（平成29年4月1日現在）

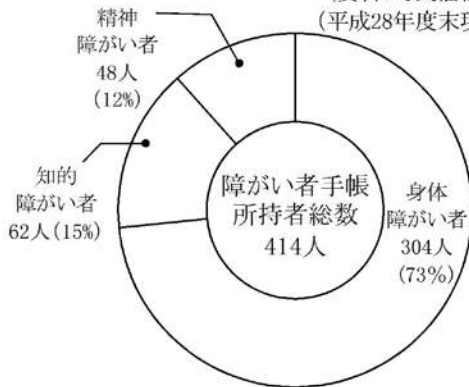
独居老人 (65歳以上)	527人
65歳以上介護認定者数 (介護認定4・5)	98人

老人クラブの現況（平成29年4月1日現在）

クラブ数	10	会員数(60歳以上)	755人
------	----	------------	------

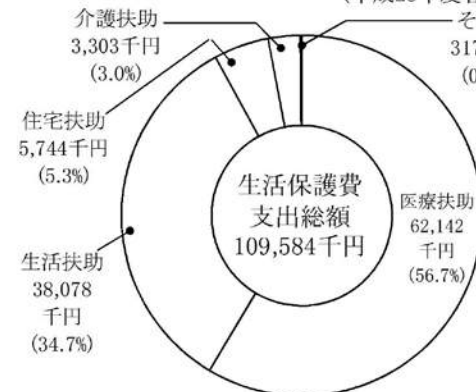
障がい者手帳所持者の状況

(資料：町民福祉課)
(平成28年度末現在)



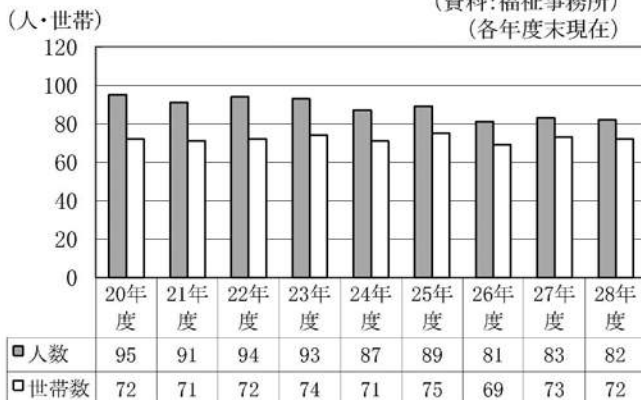
生活保護費の支出状況

(資料：福祉事務所)
(平成28年度各月累計)



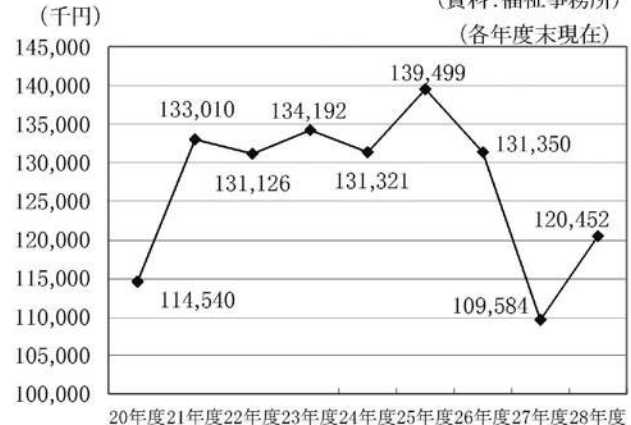
生活保護の推移

(資料：福祉事務所)
(各年度末現在)



生活保護費の推移

(資料：福祉事務所)
(各年度末現在)



消 防 ・ 防 災

沖永良部与論地区広域事務組合与論分遣所（平成29年10月1日現在）

（資料：消防署与論分遣所）

所 在 地	建 物	業 務 開 始 日
与論町茶花1190	鉄筋2階建塔屋2階487.065㎡	昭和58年10月1日

所長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防車	救急車	指令車
1人	1人	2人	2人	2人	5人	1台	2台	1台

与論町消防団（平成29年10月1日現在）

（資料：総務企画課）

条例定数：72名

実 員：62名（うち女性消防団員4名）

団長（1）—— 副団長（1）——	茶花分団長（1）—— 副分団長（1）—— 班長（3）—— 団員（19）
	与論分団長（1）—— 副分団長（1）—— 班長（3）—— 団員（12）
	那間分団長（1）—— 副分団長（1）—— 班長（3）—— 団員（14）

※（ ）は実員

消防施設及び設備（平成29年11月1日現在）

水槽付 消防自動車	消防ポンプ 自動車	救助資機材 搭載車	可搬式 動力ポンプ	防火水槽 （40t）	消火栓
3台	2台	1台	2台	76基	68基

火災発生状況（平成29年10月末現在）

種別 年	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計
24	3					1	4
25			1			3	4
26	1		2			1	4
27	2					2	4
28						1	1
29 (1月～10月末)	1					3	4



総合防災訓練（総合グラウンド）

救急出動件数及び搬送人員状況

（資料：消防署与論分遣所）

年 区 分	事故種別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	
平成24年	救急出動（回）			3	11	1	2	30	1	2	112	25(24)	187
	搬送人員（人）			3	13	1	2	30	1	2	107	24(24)	183
平成25年	救急出動（回）			3	12	1	1	35		2	125	29(21)	208
	搬送人員（人）			3	11	1	1	35		2	125	22(21)	200
平成26年	救急出動（回）				10	2	1	32	1	1	115	23(19)	185
	搬送人員（人）				14	2	1	32	1	1	110	23(20)	180
平成27年	救急出動（回）			4	11		3	33		3	130	17(17)	201
	搬送人員（人）			4	11		2	33		2	123	18(18)	193
平成28年	救急出動（回）			3	5		7	38		6	166	34(32)	259
	搬送人員（人）			2	5		5	37		4	157	34(31)	244
平成29年 (1月～9月末)	救急出動（回）				7		3	27	1	1	106	14	159
	搬送人員（人）				7		3	26	1	1	104	14	156

※（ ）は島外への搬送人員



(資料：教育統計調査)

小学校 (平成29年5月1日現在)

学 校 名	教職員	学級数	児童数		
			男	女	計
与 論 小 学 校	12	7 (2)	55 (2)	44 (1)	99 (3)
茶 花 小 学 校	12	7 (1)	75 (1)	78	153 (1)
那 間 小 学 校	10	6	40	38	78
合 計	34	20 (3)	170 (3)	160 (1)	330 (4)

※ () は特別支援学級の内数

中学校 (平成29年5月1日現在)

学 校 名	教職員	学級数	生徒数		
			男	女	計
与論中学校	17	7 (1)	69 (2)	86 (1)	155 (3)

※ () は特別支援学級の内数

中学校卒業者の進路状況

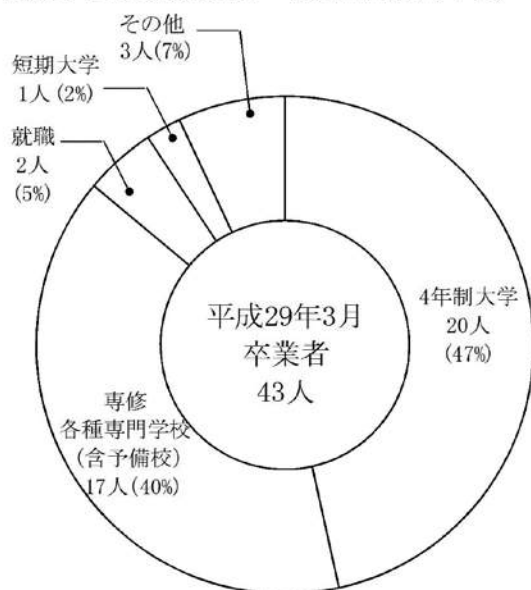
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
卒業者(人)	68	52	51	51	43	58
進学者(人)	68	52	51	51	42	58
進学率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	97.7	100.0

鹿児島県立与論高等学校 (平成29年4月7日現在)

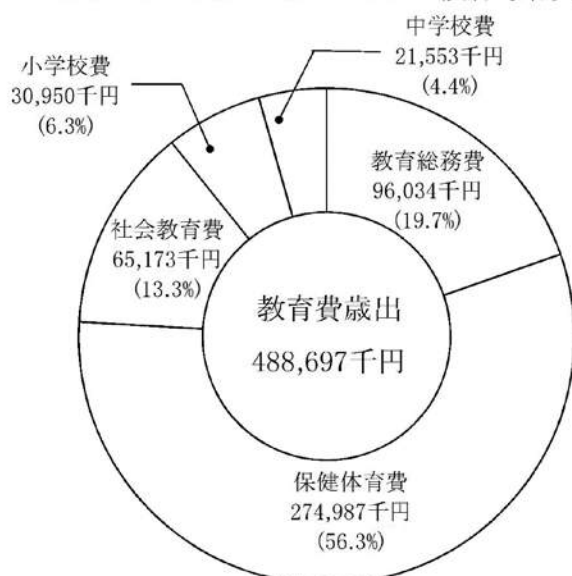
(資料：与論高等学校)

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
1 年	2	56	2	64	2	46	2	49	1	35	2	55
2 年	2	49	2	55	2	62	2	46	2	47	2	33
3 年	2	51	2	47	2	54	2	61	2	45	2	45
計	6	156	6	166	6	162	6	156	5	127	6	133
教職員	29		31		29		29		29		29	

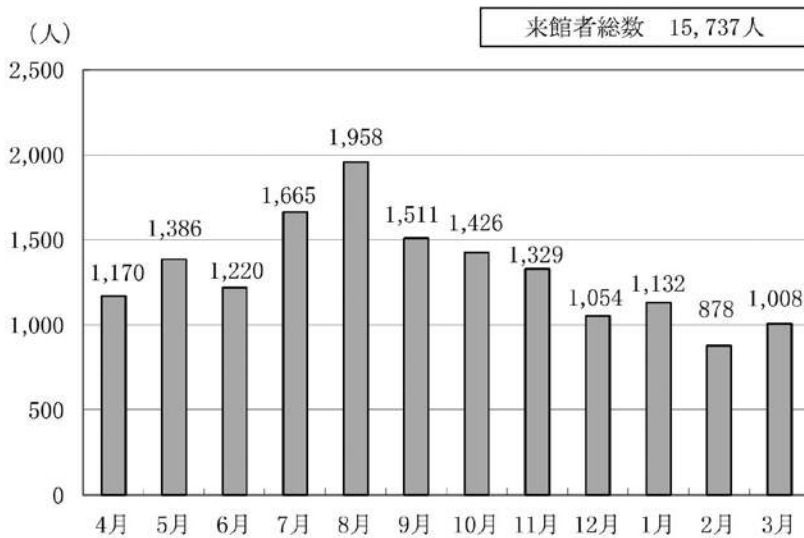
高校卒業者の進路状況 (資料：与論高等学校)



教育予算 (平成29年度当初予算) (資料：教育委員会)



町立図書館の来館者数（平成28年度）（資料：町立図書館）



与論町立図書館

町立図書館の現況（平成29年4月1日現在）

昭和59年3月完成、同年5月開館

開館時間：午前10時～午後6時30分

定休日：月曜日

職員数：5名（兼務職員及び臨時職員を含む。）

構 造	敷地面積	建築面積	述べ床面積	総事業費
鉄筋コンクリート造り3階建	1,432㎡	571㎡	780㎡	208,341千円

各室の面積（事務室を除く。）

一般閲覧室	児童閲覧室	1階書庫	学習室	研究室	視聴覚室	所蔵能力
221㎡	126㎡	72㎡	48㎡	18㎡	114㎡	約5万冊



図書館・クリスマスお話し会



中央公民館でのエイサー教室

中央公民館の現況

大ホール（舞台含む）	料理室	2階集会室	パソコン室	印刷室	研修室	和室
266㎡	81㎡	162㎡	93㎡	25㎡	177㎡	96㎡

機器室	事務室ほか
20㎡	210㎡

公民館教室（平成29年度）

（資料：中央公民館）

書 道	エ イ サ ー A	ゆ ん ぬ 太 鼓	英 語	百 人 一 首
ペ ン 字 ・ 硬 筆	エ イ サ ー B	ストレッチ（夜の部）	着 物 着 付 け	実 践 作 詞
囲碁・将棋同好会	三 線 （ 初 級 ）	琉 球 舞 踊	太 極 舞	パ ソ コ ン
茶 道	三 線 （ 中 級 ）	竹 下 琉 舞	簡 単 エ ア ロ	ク ラ フ ト

指定文化財

①国（県）指定

種 別	名 称	所 属 地	所有者等	指 定 年 月 日
天然記念物	オカヤドカリ	日本国内	所在市町村	昭和45年11月12日
天然記念物	カラスバト	奄美諸島	所在市町村	昭和46年5月19日

種 別	名 称	所 在 地	所有者等	指 定 年 月 日
無形民俗文化財	与論十五夜踊	立長 3 3 0 3	与論十五夜踊り保存会	平成5年12月13日
				昭和46年5月31日

②町指定

種 別	名 称	所 在 地	所有者等	指 定 年 月 日
天然記念物	大道那太遺物・遺跡（船置き場）	朝戸 1 7 4 7	大田栄一	昭和51年2月20日
天然記念物	大道那太遺物・遺跡（力石）	朝戸 1 7 4 7	大田栄一	昭和51年2月20日
天然記念物	屋川（ヤゴー）	麦屋 3 4 0 4	和泉松應	昭和51年2月20日
天然記念物	アマンジョウ	麦屋 8 8 2	与論町	昭和51年2月20日
天然記念物	神井戸（カミゴー）	朝戸 1 6 4 1	西村智隆	平成25年2月7日
記念物（史跡）	与論城跡	立長 3 3 0 8	与論町神社法人	昭和51年2月20日
記念物（史跡）	赤崎ウガン	麦屋 6 2 9 - 1	青山文子	平成12年4月1日
		麦屋 1 9 0	竹岡富川	
記念物（史跡）	按司根津栄屋敷跡	朝戸 1 6 5 9	立 ハナ	平成25年2月7日
記念物（史跡）	根津栄墓（頭骨安置所）	朝戸 2 4 1 8	市来大幸	平成25年2月7日
記念物（史跡）	ウマスクン	朝戸 2 5 0 8	市来大幸	平成25年2月7日
記念物（史跡）	浜宿跡	船倉岬	国	平成25年2月7日
有形民俗文化財（工芸品）	大道那太遺物・遺跡（母屋・高倉）	朝戸 1 7 4 7	大田栄一	昭和51年2月20日
有形民俗文化財（工芸品）	大道那太遺物・遺跡（手水鉢・刀入れ箱・着物入れ櫃）	朝戸 1 7 4 7	大田栄一	昭和51年2月20日
有形民俗文化財（工芸品）	櫃	麦屋 3 3 8 8	基 岸澄	平成12年4月1日
有形民俗文化財	古文書	麦屋 3 2 6 6	酒井 茂	平成12年4月1日
有形民俗文化財	古文書	立長 2 2 7 6	徳田啓達	平成12年4月1日
有形民俗文化財	古文書	茶花 9 6 8	岩村順一郎	平成12年4月1日
有形民俗文化財	古文書	麦屋 1 1 2 2 - 2	瀧 新栄	平成12年4月1日
有形民俗文化財	家系図	麦屋 3 3 8 8	基 岸澄	平成12年4月1日
有形民俗文化財	与論島の生産・生活用具	麦屋 6 9 3 - 2	菊 秀史	平成26年2月6日

神 社

名 称	所 在 地	管 理 者	内 容
地 主 神 社	城 (与論城跡)	神社法人	「島の守護神」と「城の守り神」を合祀して建立されました。毎年旧暦の3、8、10月の15日に豊年祈願祭典を挙行し、十五夜踊りを奉納します。
高 千 穂 神 社	朝 戸	神社法人	明治2年、大島諸島とともに足戸村、高尾半田に本郡13社の内の1社、高千穂神社を建立。祭神は「高天原より日向国に天降り給う」中津国の主となった神です。この神社は明治維新により、民心を改め、旧来の風習を打破、神道に帰しかつ島中安穏、五穀豊穰、人畜繁栄のために建立されたものです。
琴 平 神 社	城 (与論城跡)	神社法人	文政7年（1824年）代官鎌田新之のほからいにて樋口石垣上に小祀を建立。金比羅大権現をまつり、天保6年（1835年）現地に移転されました。明治4年琴平神社と改名、明治42年（1909年）菅原神社を合祀して、金比羅大権現、菅原道真公、市杵島姫之命を合祀しています。
按司根津栄神社	朝 戸	市来大幸	明治41年按司根津栄とその兄弟の三柱の神を合祀して建立、旧暦の3、6、10月の15日に祭が行われます。根津栄は無頼に英傑で、特に弓術に優れ、琉球軍と戦い勇壮な死をとげたと言われています。遺跡として、神社のそばの弓場に足跡、矢立の穴や馬のひづめの跡、戦死した地のソテツなどがあります。

郷土芸能・祭典・行事

月 日	新・旧歴	行事名	内 容
1月1日	新・旧	正 月	若水を汲み、新年を祝い、正月願（海難水難事故者、変死者の粗霊祭）が行われます。
1月2日	新・旧	ヘークヨイ	大工の道具祝い。
1月5日 ～7日	旧	ハミゴ－遊び	一重一瓶で酒宴したり、若い男女は晴着を着て太鼓、三味線で唄・踊りを楽しみ、学童はくい打ち、風揚げなど競います。昔は十五夜踊りと並んで島民の最高の楽しみでした。現在は一部集落を中心に伝承されています。
1月7日	新	七日節句	ジュー（お産のときに使用するイロリ）の前につるしておいた豚肉、魚、大根等を入れ、ミシジマイ（炊き込みごはん）をつくり、祖先に供え、互いにパラジ（親類）に配って食べます。
1月15日	新・旧	チキナー	この日は、ムジ（田芋）とサツマイモを練り合わせたご飯を作り、神棚に供え、昼食に食べます。
1月23日	旧	二十三夜待	月待（月神信仰）。主として城、朝戸地区で行われました。
3月3日	旧	浜下り	アンガー（新生児）の浜下り。男子はティル（竹細工のビク）・女子はソイガマ（小さなザル）を持ち、ヨモギ餅や弁当を作って海に行き、アンガーの成長を祝います。
3月15日	旧	豊年祭 （十五夜踊り）	年3回地主神社（与論城跡）境内で行われます。龍神に雨乞いをし、五穀豊穡、人畜の繁栄を祈願します。この祭りで奉納される与論十五夜踊りは、大和風（1番組）・琉球風（2番組）の踊りで構成され、前者の勇壮と後者の優雅が対照的になっています。
3月27日 3月29日	旧	ナヌカミシャー クヌカミシャー	埋葬されてから3年～5年目の遺体を掘り出して改葬し、祖先の霊を祝います。
5月5日	旧	五月節句	端午の節句。新生児には吸物を準備し、近親者が集い祝います。
7月13日 ～15日	旧	イヤーブジ	祖先祭、33年忌に満たない霊に対しては一人ひとりにご飯、お汁、その他のご馳走を三度供えます。33年忌の終わった祖先に対しては洗米（水で洗った米）を供えます。本土のお盆に相当します。
7月16日	旧	シバサシ	家の四つ門にシバ（茅）をさし、魔よけをします。
7月16日 ～19日	旧	シニグ祭 （隔 年）	氏族または血縁の者が寄り集まって、豊年と氏族の幸運を祈願する祭りです。
8月8日	新・旧	88のお祝い	米寿の祝。白米二升を高膳に盛り上げ、トーカキと呼ばれる飾り物を置いて祝います。
8月15日	旧	豊年祭 （十五夜踊り）	3月15日と同様です。踊りがすむと、獅子舞があり、そのあと綱引きがあります。各家庭ではトゥンガ（にぎり団子）を作り、祖先とお月さまに供え、学童はお月さまに供えたトゥンガを取ってまわります。
8月23日	新・旧	八月願	大工・鍛冶屋・ヤブ（占師）・役人等のように、農業、漁業以外の職業に従事した人々の慰霊祭です。
8月27日 8月29日	旧	ナヌカミシャー クヌカミシャー	3月と同様にこの日改葬が行われます。
10月15日	旧	豊年祭 （十五夜踊り）	3月・8月と同様ですが、神社境内で相撲大会が行われます。
12月下旬	新	シーブ	年の暮れ29日までに親類、近隣、知人などに贈り物をします。かつては思い慕う男女の間では、女から染花のテサジ（手拭）、男からはカンザシ等が贈られました。
12月31日	新	大晦日 （トシヌユル）	夕方に墓参りをし、浜から持ち帰った白砂を家の庭にまきます。



与論十五夜踊り（一番組）

一番組の踊り言葉は室町時代の狂言等から取材し、その踊り方は本土風のものとなっている。



与論十五夜踊り（二番組）

二番組の踊り言葉は与論島をはじめ奄美諸島や沖縄のものから取材し、その踊り方は沖縄風の舞踊を取り入れている。

宿泊施設（平成29年4月1日現在）

（資料：商工観光課）

ホテル	旅館・民宿・ペンション	ビジネスホテル	総 収 容 人 員
3	19	1	一般客 1,131人、団体客 1,286人

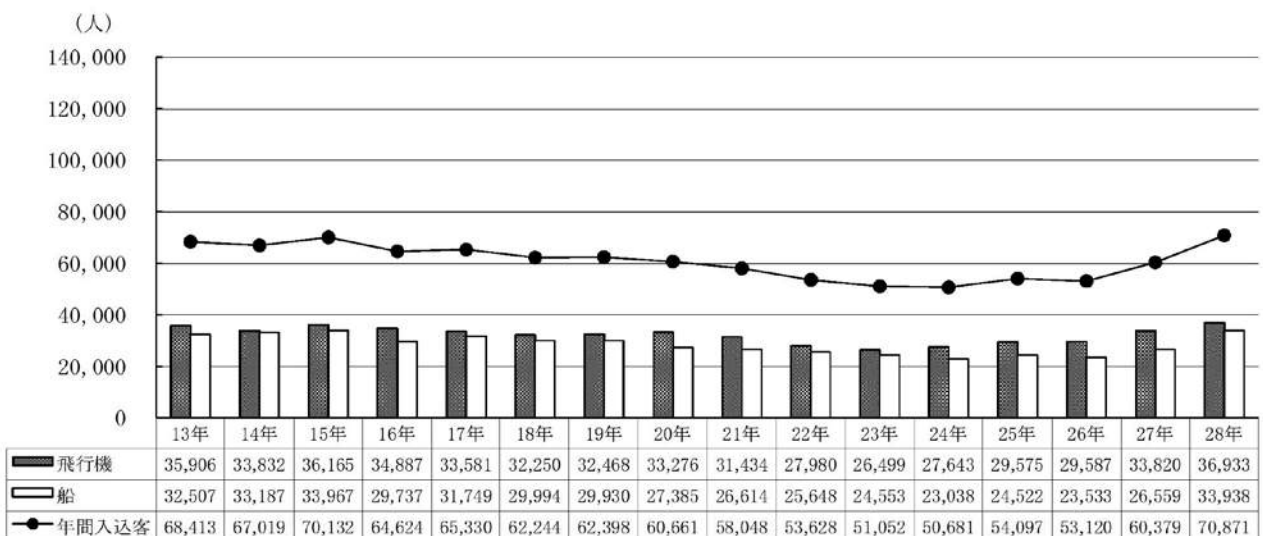
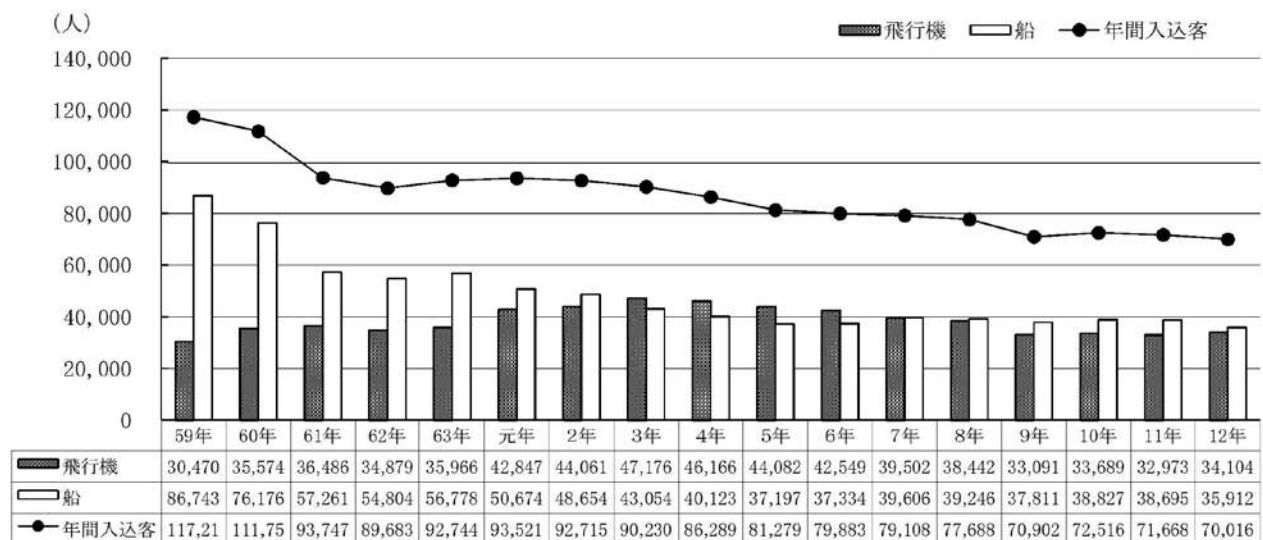
島めぐり

（資料：商工観光課）

バ ス	島内1周県道沿いのバスが北回り、南回りそれぞれ約1時間おきに運行。 （自由乗降可・金額200円）
タ ク シ ー	島内で2業者、9台が運行し、貸切による島内観光もできます。 （タクシー所有台数：南陸運5台、大洋タクシー4台）
レ ン タ ル	自転車、オートバイ、自動車など業者が多く、どこでも利用できます。
そ の 他	グラスボート、ウインドサーフィン、スキューバダイビングなど、マリンスポーツが気軽に楽しめます。

旅行客入込数の推移

（資料：商工観光課）



ヨロンマラソン結果（第1回大会～）

（資料：商工観光課）

※ハーフマラソン及びリレーマラソンは第7回大会から

	第1回大会	第2回大会	第3回大会	第4回大会	第5回大会
開催日	'92 平成4年2月9日（日）	'93 平成5年2月14日（日）	'94 平成6年2月12日（土）	'95 平成7年2月12日（日）	'96 平成8年2月11日（日）
出走者	1,317人	878人	1,099人	1,173人	1,255人
完走者	1,288人 (男999人・女286人・車イス3人)	856人 (男651人・女205人)	1,086人 (男760人・女326人・車イス1人)	1,161人 (男801人・女360人)	1,247人 (男847人・女400人)
完走率	97.8%	97.5%	98.8%	98.9%	99.4%
男子総合優勝 （フルマラソン）	村上 義勝 (熊本県 42歳) 2:40:02	長谷川 和正 (兵庫県 36歳) 2:35:08	高橋 良 (神奈川県 30歳) 2:40:40	葛野 悟 (神奈川県 22歳) 2:32:41	井上 和男 (愛知県 26歳) 2:38:01
女子総合優勝 （フルマラソン）	原 由里子 (福岡県 26歳) 3:15:55	金塚 順子 (東京都 40歳) 3:27:15	永田 はるよ (鹿児島県 31歳) 3:14:41	平野 千春 (大阪府 20歳) 3:06:09	川 照美 (鹿児島県 32歳) 3:01:39

	第6回大会	第7回大会	第8回大会	第9回大会	第10回大会
開催日	'97 平成9年2月9日（日）	'98 平成10年3月1日（日）	'99 平成11年3月7日（日）	'00 平成12年3月5日（日）	'01 平成13年3月11日（日）
出走者	823人	1,067人	941人	962人	1,265人
完走者	789人 (男557人・女232人)	1,054人 (男731人・女323人)	930人 (男648人・女282人)	959人 (男659人・女300人)	1,220人 (男839人・女381人)
完走率	95.9%	98.8%	98.8%	99.5%	96.4%
男子総合優勝 （フルマラソン）	末松 隆二 (沖縄県 26歳) 2:41:34	小野寺 憲一 (宮城県 30歳) 2:43:57	野本 哲晃 (大阪府 23歳) 2:43:23	野本 哲晃 (大阪府 24歳) 2:42:37	野本 哲晃 (大阪府 25歳) 2:33:28
男子総合優勝 （ハーフマラソン）		今津 淳一 (福岡県 28歳) 1:12:28	根本 渉 (千葉県 27歳) 1:14:57	伊藤 幸一 (東京都 25歳) 1:19:50	堀木 暢人 (鹿児島県 28歳) 1:14:44
女子総合優勝 （フルマラソン）	熊谷 隆子 (東京都 24歳) 3:06:18	今江 七夕美 (滋賀県 32歳) 3:30:07	川 照美 (鹿児島県 35歳) 3:14:15	今江 七夕美 (滋賀県 34歳) 3:31:19	野本 泰子 (兵庫県 35歳) 3:17:18
女子総合優勝 （ハーフマラソン）		田代 多恵子 (福岡県 50歳) 1:47:42	大谷 直 (神奈川県 27人) 1:26:33	吉川 君子 (奈良県 58歳) 1:53:15	青山 典子 (千葉県 35歳) 1:37:13
リレーマラソン優勝		沖縄愛楽園（沖縄県） 2:31:53	FRP（神奈川県） 2:30:12	Five Spirits（鹿児島県） 3:06:17	和泊中学校（鹿児島県） 2:46:15

	第11回大会	第12回大会	第13回大会	第14回大会	第15回大会
開催日	'02 平成14年3月10日（日）	'03 平成15年3月9日（日）	'04 平成16年3月7日（日）	'05 平成17年3月6日（日）	'06 平成18年3月5日（日）
出走者	1,060人	1,070人	1,106人	1,026人	1,039人
完走者	1,048人 (男719人・女329人)	1,037人 (男694人・女343人)	1,073人 (男676人・女397人)	980人 (男598人・女382人)	1,004人 (男643人・女361人)
完走率	98.8%	97.1%	97.0%	95.5%	96.6%
男子総合優勝 （フルマラソン）	山根 文雄 (神奈川県 34歳) 2:31:26	野本 哲晃 (大阪府 27歳) 2:29:20	野本 哲晃 (福岡県 28歳) 2:29:53	中木原 毅尚 (鹿児島県 23歳) 2:34:32	中木原 毅尚 (鹿児島県 24歳) 2:33:17
男子総合優勝 （ハーフマラソン）	武田 国拓 (鹿児島県 18歳) 1:11:22	挾川 典靖 (鹿児島県 26歳) 1:14:37	幸福 恵吾 (鹿児島県 25歳) 1:16:33	森本 幸司 (熊本県 24歳) 1:13:55	森本 幸司 (熊本県 25歳) 1:15:25
女子総合優勝 （フルマラソン）	松本 明子 (熊本県 48歳) 3:08:04	今江 七夕美 (滋賀県 37歳) 3:15:47	道場 守里 (神奈川県 34歳) 3:25:30	道場 守里 (神奈川県 35歳) 3:36:49	安田 祥江 (三重県 28歳) 3:08:08
女子総合優勝 （ハーフマラソン）	古浦 千裕 (沖縄県 18歳) 1:31:07	近藤 美和子 (静岡県 15歳) 1:31:55	青山 典子 (千葉県 38歳) 1:33:39	青山 典子 (千葉県 39歳) 1:33:12	中川 令子 (東京都 31歳) 1:34:18
リレーマラソン優勝	セントラルさんしちょう（鹿児島県） 2:45:22	与論高校3年生（与論町） 2:47:37	沖縄国際大学Aチーム（沖縄県） 2:25:40	知覧茶倶楽部（鹿児島県） 3:15:17	しばしの別れ 2:54:22

※リレーマラソンは第24回大会から廃止

	第16回大会	第17回大会	第18回大会	第19回大会	第20回大会
開催日	'07 平成19年3月4日(日)	'08 平成20年3月9日(日)	'09 平成21年3月8日(日)	'10 平成22年3月7日(日)	'11 平成23年3月6日(日)
出走者	1,069人	1,195人	1,290人	1,193人	1,326人
完走者	1,036人 (男659人・女377人)	1,144人 (男531人・女613人)	1,269人 (男760人・女509人)	1,160人 (男583人・女55人・リレー120人)	1,282人 (男707人・女575人)
完走率	96.9%	95.7%	98.3%	97.2%	96.6%
男子総合優勝 (フルマラソン)	中木原 毅尚 (鹿児島県 25歳) 2:46:32	橋本 謙司 (千葉県 24歳) 2:39:42	中木原 毅尚 (鹿児島県 27歳) 2:41:07	熊田 亮介 (千葉県 22歳) 2:44:45	山根 文雄 (大阪府 43歳) 2:39:24
男子総合優勝 (ハーフマラソン)	幸福 恵吾 (鹿児島県 28歳) 1:15:54	中木原 毅尚 (鹿児島県 26歳) 1:18:48	本高 和弘 (鹿児島県 51歳) 1:22:07	小山 強志 (栃木県 38歳) 1:13:57	町田 知宏 (群馬県 22歳) 1:21:38
女子総合優勝 (フルマラソン)	野村 泰子 (兵庫県 41歳) 3:24:58	林田 智美 (東京都 32歳) 3:22:21	中元 美紀 (滋賀県 32歳) 3:19:52	伊藤 夕子 (埼玉県 37歳) 2:58:23	小池 廣子 (愛知県 53歳) 3:31:57
女子総合優勝 (ハーフマラソン)	川 照美 (鹿児島県 43歳) 1:35:18	川 照美 (鹿児島県 44歳) 1:34:35	川 照美 (鹿児島県 45歳) 1:34:22	花岡 洋子 (福岡県 41歳) 1:35:09	渡久知 利佳 (東京都 23歳) 1:28:27
リレーマラソン優勝	チーム和歌 3:13:49	チームV・F・C 3:20:53	与論高校野球部 3:10:03	芝浦工業大学 3:33:23	Team yoroyoro 3:19:05

	第21回大会	第22回大会	第23回大会	第24回大会	第25回大会
開催日	'12 平成24年3月4日(日)	'13 平成25年3月3日(日)	'14 平成26年3月9日(日)	'15 平成27年3月8日(日)	'16 平成28年3月6日(日)
出走者	1,171人	1,135人	1,091人	1021人	949人
完走者	1,122人 (男641人・女481人)	1,114人 (男571人・女438人・リレー105人)	1,059人 (男512人・女397人・リレー150人)	918人 (男511人・女375人)	919人 (男486人・女433人)
完走率	95.8%	98.1%	97.1%	96.5%	96.8%
男子総合優勝 (フルマラソン)	田島 大志 (鹿児島県 30歳) 2:51:11	吉 隆之輔 (鹿児島県 21歳) 2:35:43	吉 隆之輔 (鹿児島県 22歳) 2:34:35	飯干 守道 (福岡県 34歳) 2:41:55	吉村 健人 (鹿児島県 21歳) 2:40:02
男子総合優勝 (ハーフマラソン)	若原 新吾 (兵庫県 39歳) 1:23:53	松本 昂大 (東京都 25歳) 1:15:43	黒瀬 謙太 (鹿児島県 24歳) 1:21:52	武田 国拓 (鹿児島県 31歳) 1:18:57	俵屋 義雄 (長崎県 44歳) 1:22:30
女子総合優勝 (フルマラソン)	菊井 祐子 (奈良県 45歳) 3:28:19	松谷 恵美 (神奈川県 47歳) 3:08:12	松谷 恵美 (神奈川県 48歳) 3:09:06	花岡 洋子 (福岡県 46歳) 3:25:14	村田 祥江 (三重県 38歳) 3:12:44
女子総合優勝 (ハーフマラソン)	森口 聡子 (東京都) 1:33:41	花岡 洋子 (福岡県 44歳) 1:38:07	花岡 洋子 (福岡県 45歳) 1:33:53	松谷 恵美 (神奈川県 49歳) 1:30:32	花岡 洋子 (福岡県 47歳) 1:32:57
リレーマラソン優勝	琉球大医経音2軍 3:26:59	musubi 2:57:44	高校サッカー部 2:55:41		

	第26回大会
開催日	'17 平成29年3月5日(日)
出走者	840人
完走者	809人 (男468人・女341人)
完走率	96.3%
男子総合優勝 (フルマラソン)	吉村 健人 (鹿児島県 22歳) 2:39:14
男子総合優勝 (ハーフマラソン)	小林 誠治 (長崎県 40歳) 1:17:16
女子総合優勝 (フルマラソン)	宇田津 碧葉 (熊本県 22歳) 3:08:46
女子総合優勝 (ハーフマラソン)	花岡 洋子 (福岡県 48歳) 1:32:57



与論町のあゆみ

1266年（文永3年） 琉球国の英祖王に納貢し、琉球所属となる	1825年（文政8年） 天然痘が流行
1405年（応永12年）－1416年（応永23年） - 琉球北山王の三男王舅が与論城を築く - 城は北山滅亡のため未完成となる	1826年（文政9年） 天然痘が流行し、大飢饉となり多数の死者が出る
1525年（大永5年） 又吉按司、与論島主となる	1829年（文政12年） 大島、砂糖を総買上げ、金銭取り引き始まる
1561年（永禄4年） 十五夜踊り始まる	1831年（天保2年） （人口3,180人）
1609年（慶長14年） 島津の琉球入り、尚寧王降伏	1835年（天保6年） - 金比羅神社を上城へ移す - 麻疹（はしか）流行
1610年（慶長15年） - 薩摩藩の所屬となる - 直川智、サトウキビを初めて大島の大和浜に栽培	1838年（天保9年） （人口3,203人〈男1,617人、女1,586人〉）
1612年（慶長18年） 大島本島に代官を設置	1845年（弘化2年） （人口3,700人〈男1,878人、女1,822人〉）
1616年（元和2年） - 徳之島に代官を設置 - 屋口与論主藩主任官となる	1851年（嘉永4年） 疫病が流行し、250人が死亡
1682年（天和2年） - ソテツ - 蘇鉄植栽始まる	1852年（嘉永5年） （人口3,888人〈男1,994人、女1,894人〉）
1690年（元禄3年） 沖永良部島代官、徳之島より分離	1869年（明治2年） 高千穂神社を建立
1691年（元禄4年） （人口1,294人）	1871年（明治4年） 地主神社を建て氏神をまとめて祭る
1719年（享保4年） 琉球王へ贈物	1873年（明治6年） - 与論島が沖永良部から行政上分離独立 - 鶴政信氏初代戸長に就任 - 砂糖の売買が自由になる
1721年（享保6年） （人口2,130人）	1875年（明治8年） - 与論支所設立 - 大水間切と東間切に戸長役場を設置 - 一般の人に名字がつけられる - 学問所（ナンカル学校）開校（児童数90人、教師5人） （人口5,683人）
1778年（安永7年） 痘瘡（天然痘）が大流行し、大飢饉となり多数の死者が出る	1877年（明治10年） 西南戦争に2名出兵
1781年（安永10年） 台風が襲来、大飢饉となり、琉球より米を拝借	1878年（明治11年） - 風葬が禁止される - 亭野学校（与論小の前身）開校 - チフスやコレラが大流行 - 与論郵便局を城に設置（局長 平直和加氏）
1799年（寛政11年） （人口3,357人）	1879年（明治12年） 汽船が初めて入港
1800年（寛政12年） 琉球国王へ贈物	1880年（明治13年） - 上野應介氏戸長に就任（21年間在職） - 田畑の検地・登録を実施
1808年（文化5年） 唐（中国）船、茶花村^{ウブラ}大浦へ漂着	1882年（明治15年） 学級編成を初等・中等・高等の三階級に定める
1809年（文化6年） 大干ばつのため、翌年まで大飢饉となる	1884年（明治17年） 十五夜踊りが中止される
1815年（文化12年） （人口3,530人）	
1819年（文政2年） 沖永良部島にサトウキビの植付け始まる	
1824年（文政7年） - 金比羅神社を樋口石垣上に建立 （人口4,248人）	

与論町のあゆみ

1886年（明治19年）
・天然痘・台風・火災の被害により飢饉

1887年（明治20年）
・与論簡易小学校となる

1890年（明治23年）
・沖永良部警察署与論駐在所を設置
・十五夜踊りが復活

1894年（明治27年）
・日清戦争に9名出兵

1897年（明治30年）
・簡易小学校を廃止、与論尋常小学校となる

1898年（明治31年）
・猛烈な台風が襲来し4年間大飢饉となる

1899年（明治32年）
・足戸に巡査駐在所を設置
・裁判所出張所を城に設置
・長崎県口之津への移住始まる



長崎県口之津町での与論館落成式（平成7年2月）

与論館：明治32年に集団移住して石炭積出し労務に従事し、口之津繁栄の一端を支えてくれた与論の人達が使った当時の住宅（与論長屋）を館内に縮小再現した他、与論との縁を物語る様々な資料を展示し、その絆を永く伝えようと築いた館。

1900年（明治33年）
・与論尋常小学校の分校を茶花と那間に開校

1901年（明治34年）
・梅山藤里氏戸長に就任

1904年（明治37年）
・日露戦争に25名出兵

1905年（明治38年）
・戸長役場を城から茶花に移転
・時千良氏戸長に就任

1906年（明治39年）
・赫助熊氏戸長に就任

1908年（明治41年）
・与論村となり村役場を置く
・龍田佐隆史氏初代村長に就任
・第1回村会議員選挙実施

1909年（明治42年）
・菅原神社を琴平神社に合祀する

1911年（明治44年）
・茶花・麦屋（西区）間に道路開通
・大野好文氏県会議員に当選

1912年（大正元年）
・龍宮辰次郎氏村長に就任

1914年（大正3年）
・第1次世界大戦に10名出兵

1915年（大正4年）
・龍中興氏村長に就任

1916年（大正5年）
・与論島一周道路が開通
・皆吉平安禎氏村長に就任

1917年（大正6年）
・麦屋と立長から分立して城字ができる

1918年（大正7年）
・山下平志氏村長に就任

1919年（大正8年）
・麦屋から西区と東区に分かれる
・茶花尋常小学校と那間尋常小学校が独立

1920年（大正9年）
・足戸・古里・那間から分立して叶字ができる
・（第1回国勢調査による人口7,916人）

1922年（大正11年）
・電報が打てるようになる

1924年（大正13年）
・山喜見政氏村長に就任

1925年（大正14年）
・（国勢調査による人口7,661人）

1926年（大正15年）
・村立青年訓練所与論小内に開設

1927年（昭和2年）
・鉛筆、ノートが使われ始める

1930年（昭和5年）
・（国勢調査による人口8,227人）

1931年（昭和6年）
・動力製糖工場（昭和工場）や精米所ができる
・脱穀機が初めて使われる
・満州事変に横山治興氏などが出兵

1933年（昭和8年）
・茶花に消防団を結成
・黒田正孝氏村長に就任

1935年（昭和10年）
・青年訓練所を廃し青年学校を開設
・（国勢調査による人口8,630人）

1936年（昭和11年）
・村営汽船与論丸が与論-沖縄間に就航

1937年（昭和12年）
・田中上安氏村長に就任
・村立青年学校が独立
・大金久に防砂林を植樹

1939年（昭和14年）
・青年学校も義務制となる
・初めて自動車が走る（東亜燐鉍株式会社）

与論町のあゆみ

1940年（昭和15年）

- ・（国勢調査による人口7,889人）

1941年（昭和16年）

- ・尋常小学校を国民学校に改称
- ・黒田正孝氏村長に再就任
- ・村立青年学校が現在の与論中に完成
- ・太平洋戦争始まる

1943年（昭和18年）

- ・満州移民開拓団先遣隊出発（団長・伊藤佐江吉氏）
- ・足戸に郵便局を開設

1944年（昭和19年）

- ・満州移民開拓団第1陣出発
- ・金井清実氏村長に就任
- ・初空襲を受け与論丸沈没

1945年（昭和20年）

- ・3月23日から3日間の空襲を受け、茶花商店街や茶花校焼ける 同23日那間校、26日与論校や青年学校焼ける 4月4日琴平神社焼ける（全島で約370世帯が焼ける）8月15日終戦、10月に米軍初来島
- ・9月1日、3小学校入学式を挙行
- ・（人口7,913人）

1946年（昭和21年）

- ・アメリカ合衆国統治下に置かれ、日本と分離（2月2日）、帰国した満州移民団肝属郡田代町に移住

1947年（昭和22年）

- ・青年学校を廃止し、村立実業高校を開校
- ・相撲・柔道協会を設立（会長 坂元原澄氏）
- ・酒工場（有村酒造）できる
- ・与論村漁業会設立（会長 坂元原澄氏）

1948年（昭和23年）

- ・山本喜久政氏村長に就任
- ・学制改革により、国民学校を小学校と改称
- ・与論中学校開校

1949年（昭和24年）

- ・与論村立与論実業高等学校廃校

1950年（昭和25年）

- ・農協に自動車が入る（戦後初）
- ・（人口8,141人）

1951年（昭和26年）

- ・与論（茶花に150灯）に初めて電灯がともされる（南発電所）

1952年（昭和27年）

- ・龍野通雄氏村長に就任
- ・初代教育長に武田恵喜光氏就任

1953年（昭和28年）

- ・奄美群島が日本に復帰（12月25日）



奄美本土復帰を祝う児童生徒たち

1954年（昭和29年）

- ・足戸を朝戸に改称
- ・与論中学校に鉄筋校舎が完成
- ・与論小学校にPTAによる付属幼稚園を開設
- ・小祝幸一氏、小笠原からカボチャの種子を持ち込み栽培を始める
- ・与論村漁協協同組合と改称
- ・2代教育長 伊藤佐孝氏就任

1955年（昭和30年）

- ・診療所を開設
- ・山下平志氏村長に再就任
- ・（国勢調査による人口7,851人）
- ・3代教育長 山下福哉氏就任

1956年（昭和31年）

- ・与論小学校に鉄筋校舎が完成
- ・4代教育長 東可梯氏就任

1957年（昭和32年）

- ・村営発電所できる
- ・那間小学校に鉄筋校舎が完成

1958年（昭和33年）

- ・茶花小学校に鉄筋校舎が完成
- ・電話が開通
- ・テレビが見られるようになる
- ・あけぼの丸が就航
- ・奄美大島信用金庫与論支店開設

1959年（昭和34年）

- ・久留富森氏村長に就任

1960年（昭和35年）

- ・タクシーが走るようになる（南タクシー）
- ・（国勢調査による人口7,792人）

1961年（昭和36年）

- ・プロパンガスの使用始まる（吉田プロパン）

1962年（昭和37年）

- ・バスが走るようになる（南陸運）
- ・大型製糖工場ができる
- ・兼母灯台ができる
- ・一周道路が県道になる

1963年（昭和38年）

- ・1月1日、町制施行「与論町」となる
- ・龍野通雄氏町長に就任
- ・南島開発K.K. 与論工場操業開始
- ・江が島橋竣工
- ・大千ばつ続く
- ・小中学校で学校給食始まる
- ・町体協ができ、第1回町民体育大会開催

1964年（昭和39年）

- ・茶花・立長に町で初めての簡易水道施設ができる
- ・5代教育長 竹内得吉氏就任

1965年（昭和40年）

- ・与論中学校に2階校舎と体育館完成
- ・照国丸が就航
- ・麦屋地区簡易水道施設ができる
- ・観光協会創設
- ・（国勢調査による人口7,181人）

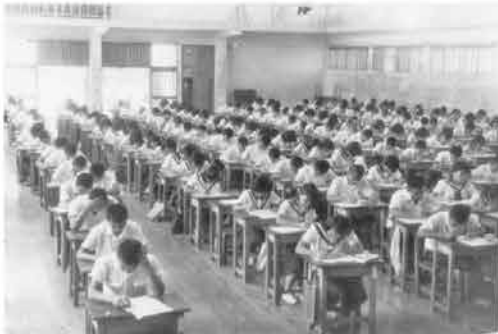
1966年（昭和41年）

- ・県道の舗装工事始まる
- ・町章を制定
- ・与論町商工会ができる

与論町のあゆみ

1967年（昭和42年）

- ・大島高等学校与論分校開校（中学校内）
- ・役場新庁舎落成
- ・三州高等経理学校開校
- ・農業構造改善事業開始
- ・町民440人、東京見学（波の上丸）
- ・龍野通雄氏町長に就任（2期目）



与論中学校体育館で行われた大島高等学校与論分校
第一回入学試験

1968年（昭和43年）

- ・茶花小体育館が完成
- ・大島高等学校与論分校現在地へ移転
- ・麦屋へき地出張診療所開設
- ・あまみ丸就航
- ・消防ポンプ自動車購入

1969年（昭和44年）

- ・農村振興センター（現中央公民館）完成
- ・田代町と姉妹盟約を結ぶ
- ・那間簡易郵便局開設
- ・那間へき地診療所開設
- ・大島高等学校与論分校に本校舎が完成

1970年（昭和45年）

- ・ミカンコミパエ航空防除
- ・琴平神社の大鳥居が完成
- ・町営電気事業大島電力へ合併
- ・ハイビスカス丸就航
- ・大島紬織工養成所落成
- ・那間簡易水道施設ができる
- ・朝戸保育所が落成
- ・「与論町第一次振興計画」策定
- ・（国勢調査による人口7,096人）

1971年（昭和46年）

- ・県立与論高等学校が独立
- ・赤崎灯台できる
- ・各小学校に町立幼稚園を併設
- ・十五夜踊り、県の無形民俗文化財に指定
- ・那間小学校に体育館が完成
- ・龍野通雄氏町長に就任（3期目）

1972年（昭和47年）

- ・地域集団電話が開設
- ・喜山盛治氏、藍綬褒章を受章
- ・ごみ焼却炉ができる
- ・ひかり丸、クイーンコーラル就航
- ・太陽国体採火式と炬火リレー举行
- ・与論高校に体育館が完成
- ・与論空港測量開始
- ・麦屋へき地保健福祉館落成
- ・沖縄が祖国復帰（5月15日）
- ・与論高校学級増（3学級）

1973年（昭和48年）

- ・町制施行10周年記念式典を举行

- ・大島電力、九州電力へ合併
- ・与論空港工事始まる
- ・与論小体育館完成
- ・国民宿舎海中公園センター「ヨロン」完成
- ・与論島総合学術調査実施
- ・大島地区総合社会教育研究会開催
- ・与論町名誉町民に有村治峯氏と西田当元氏を推戴
- ・キビ価格引き上げ決起大会に76名上京

1974年（昭和49年）

- ・徳永運輸大臣来島
- ・与論島国定公園指定
- ・県道舗装完了
- ・町田原長氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・与論高校に武道館が完成
- ・サトウキビ価格1トン当たり15,000円となる

1975年（昭和50年）

- ・学校給食センターが完成
- ・坂元原澄氏町長に就任
- ・エメラルドあまみ・クイーンコーラルⅡ就航
- ・与論小創立100周年記念式典を举行
- ・大内森業氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・（国勢調査による人口6,971人）
- ・6代教育長 山下勇夫氏就任

1976年（昭和51年）

- ・与論空港が開港
- ・木村運輸大臣、金丸県知事、屋良沖縄県知事が来島
- ・台風17号で大被害を受ける（災害救助法適用）
- ・特別養護老人ホーム「ヨロン園」完成
- ・与論高校創立10周年記念式典を举行
- ・郡内市町村議員大会開催
- ・大島地区老人スポーツ大会開催



与論空港開港

1977年（昭和52年）

- ・龍野通雄氏、大原里奥氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・航空郵便始まる
- ・台風9号で大被害を受ける（災害救助法適用）
- ・あけぼの丸就航
- ・東亜国内航空鹿児島直行便が開通
- ・サトウキビ価格1トン当たり18,000円となる
- ・全国ダイヤル即時通話が開通
- ・鹿児島与論会50周年記念式典を举行



製糖終了祝い

1978年（昭和53年）

- ・与論中学校創立30周年記念式典を举行

与論町のあゆみ

- ・立長へき地保健福祉館が完成
- ・茶花小学校特別教室（3階建て）完成
- ・県民体育大会奄美大島地区大会を与論で開催
- ・那覇、与論間空路開設実現（南西航空）
- ・与論郵便局創立100周年記念式典を挙げる
- ・青年会館完成
- ・町旗・町民歌制定
- ・百合ヶ浜周辺海浜地を町一括管理
- ・竹内得吉氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・満州開拓団犠牲者の慰霊碑建立
- ・東区青少年センター完成

1979年（昭和54年）

- ・与論校区農村基盤総合整備事業始まる
- ・新しい診療所がオープン
- ・防災無線を設置
- ・医師住宅を建設
- ・茶花保育所を開設
- ・与論民間放送中継局の建設
- ・与論港初接岸（供利）
- ・与論町で車座対談開催（鎌田要人県知事来島）
- ・与論町交通安全協会が発足
- ・山市郎氏町長に就任
- ・名誉町民に山下平志氏、龍野通雄氏を推戴
- ・川畑森城氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・南西航空日発運航
- ・南西航空沖永良部就航（月・水・金）
- ・那間へき地保健福祉館落成
- ・7代教育長 益田元甫氏就任



大型フェリーの与論港初接岸（供利）を祝う式典

1980年（昭和55年）

- ・茶花地区公民館完成
- ・朝戸児童館が完成
- ・東十条小学校（東京）と与論町3小学校姉妹校盟約協定
- ・茶花小、与論小に夜間照明施設設置
- ・古里青少年センターが完成
- ・交通信号機を設置（農協前）
- ・波之上丸が就航
- ・（国勢調査による人口7,320人）

1981年（昭和56年）

- ・叶生活館が完成
- ・那間小附属幼稚園舎が完成
- ・那間小、与論中に夜間照明施設設置
- ・山下平志氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・喜山盛治氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・地籍調査を完了
- ・「第2次与論町振興計画基本構想」策定
- ・名誉町民に伊藤佐江吉氏を推戴
- ・役場3階増築

1982年（昭和57年）

- ・伝染病棟が完成
- ・城青少年センターが完成
- ・与論高校に小体育館が完成
- ・ニュークイーンコーラルが就航

- ・与論中に特別教室が完成（LL教室・図書室など）
- ・浄水場が完成
- ・岩山新二氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・大島地区社会福祉大会開催
- ・谷山慶介氏郡町村議会議長に就任
- ・南三島老人スポーツ大会開催
- ・農協選果場完成
- ・サトウキビ価格1トン当たり21,450円となる

1983年（昭和58年）

- ・防災センター完成
- ・ヨロコバナウル王国を建国する
- ・新しいゴミ焼却炉施設が完成
- ・町制施行20周年記念式典を挙げる（町民憲章・町花・町木・町民音頭を制定）
- ・川畑浩一氏町長に就任
- ・沖永良部与論地区消防組合与論分遣所が完成
- ・茶花生活館が完成
- ・サトウキビ価格1トン当たり21,470円となる
- ・ドルニエ機（日本エアコミューター）が奄美大島・与論間に就航



ヨロコバナウル王国建国パレード

1984年（昭和59年）

- ・消防自動車（10トンタンク車）購入
- ・町立図書館が完成
- ・総合運動場が完成
- ・自治公民館制度が発足
- ・大島支部消防操法大会開催
- ・ギリシャ国ミコノス市と姉妹盟約締結（川畑浩一町長以下26人がミコノス島を親善訪問）



ミコノス島を親善訪問

1985年（昭和60年）

- ・ミコノス市・与論町姉妹盟約締結記念式典を挙げる（ギリシャ国駐日大使コンスタンティノス・ディペロプロス氏来島）
- ・茶花小・那間小学校創立85周年記念式典を挙げる
- ・町内全小組合長研修会を初めて開催
- ・ドルニエ機（日本エアコミューター）徳之島与論間に就航
- ・（国勢調査による人口7,222人）

1986年（昭和61年）

- ・与論中学校の新体育館完成

与論町のあゆみ

- ・那間保育所が完成
- ・製糖史上最高の64,859トンを生産
- ・定期船「ありあけ」が就航
- ・総合運動場に夜間照明施設を設置
- ・定期船「クイーン・コーラル7」が就航
- ・与論高等学校創立20周年記念式典挙行
- ・第32回奄美地区総合社会教育研究大会を開催
- ・上野應介翁顕徳碑を建立

1987年（昭和62年）

- ・多目的運動広場（テニスコート）が完成
- ・特別養護老人ホーム「ヨロン園」創立10周年記念祝典を挙行
- ・鎌田要人県知事が来島し車座対談開催
- ・第41回県民体育大会第28回大島地区大会を開催
- ・福富雄氏町長に就任
- ・川畑茂氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・プリシアリゾートヨロン開業

1988年（昭和63年）

- ・川畑芽出雄氏、藍綬褒章を受章
- ・市内局番1桁から2桁となる
- ・益田元甫氏、勲4等瑞宝章を受章
- ・与論中学校新校舎が完成（普通教室・多目的教室・給食コンテナ室など）
- ・農業集落排水施設工事着工
- ・与論町誌発刊
- ・8代教育長 福永政直氏就任

1989年（平成元年）

- ・防災無線施設（戸別受信機）整備
- ・与論高校テニス部全国大会初出場
- ・与論幹部派出所移転新築落成
- ・戸別受信機による定時放送（広報サービス）開始
- ・与論・田代姉妹町盟約20周年記念行事開催
- ・与論港（茶花地区）完成開港
- ・フェリーあけぼの（新造船）就航
- ・那間小全日本健康優良学校表彰受賞（4度目）
- ・谷山慶介氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・萩原富吉氏、勲6等単光旭日章を受章

1990年（平成2年）

- ・那間小プール完成
- ・全郡議会議員大会開催
- ・肉用牛飼養頭数2,000頭突破
- ・（国勢調査による人口6,704人）

1991年（平成3年）

- ・保健センター完成
- ・琴龍橋・翔龍橋開通
- ・平田敏秀氏町長に就任
- ・有村泰治氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・第3次与論町総合振興計画策定

1992年（平成4年）

- ・第1回ヨロンマラソン開催（参加者1,317人）
- ・B&G海洋センター（プール・艇庫）オープン
- ・元プロ野球選手村田治氏来島講演
- ・ヨットウーマン今給黎教子氏来島講演
- ・元気通りを宣言（朝戸集落）
- ・ゆんぬ青年エイサー結成
- ・第1回ダイビングフェスティバル開催

1993年（平成5年）

- ・旧巡視船「あまみ」品覇海岸沖に沈める
- ・サザンクロスセンターオープン
- ・水産物加工施設完成
- ・総合育苗センター完成
- ・第1回元氣七夕祭開催（朝戸集落）
- ・砂美地来館完成
- ・県民体育大会サッカー大島地区与論大会で与論優勝

- ・町制施行30周年記念式典を挙行
- ・クイーンコーラル（新造船）就航
- ・「与論十五夜踊」、国の重要無形民俗文化財に指定
- ・肉用牛飼養頭数3,000頭突破
- ・山下勇夫氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・竹下茂徳氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・永野平治氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・10代教育長 竹下徹氏就任

1994年（平成6年）

- ・移動図書館車巡回始まる
- ・与論高校弓道場完成
- ・若松光茂氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・石川サトイモ集出荷施設完成
- ・与論町老人保健福祉計画策定
- ・フェリーなみのうえ（新造船）就航
- ・竹村福哉氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・中央通り会・銀座通り会発足

1995年（平成7年）

- ・サトウキビ品質取引始まる
- ・与論救護所発足
- ・松山俊一氏、勲7等瑞宝章を受章
- ・与論町緑化基本計画策定
- ・B&G与論海洋センター（プール・艇庫）無償譲渡
- ・平田敏秀氏町長に就任（2期目）
- ・サーブ機（日本エアコミューター）奄美与論間就航
- ・ありあけ（新造船）就航（与論は不定期）
- ・与論郵便局新築移転
- ・与論小学校創立120周年記念式典を挙行
- ・町連合青年団結成50周年記念式典挙行
- ・土壌診断センター完成
- ・赤佐地区農業集落排水施設供用開始
- ・（国勢調査による人口6,210人）

1996年（平成8年）

- ・与論徳州会病院オープン
- ・地域福祉センターオープン
- ・川畑芽出雄氏、勲5等双光旭日章を受章
- ・野口スミエ氏、勲7等宝冠章を受章
- ・町商工会設立30周年記念式典を挙行
- ・クルーズフェリー飛龍与論航路に就航
- ・与論2世本博国（ボクシング）アトランタオリンピック出場
- ・与論港コースタルリゾート整備事業始まる
- ・与論高校創立30周年記念式典を挙行

1997年（平成9年）

- ・与論ー沖縄路線、日本トランスオーシャン航空から琉球エアコミューターへ移管される
- ・ギリシャ村開村（代表 阿由葉辰夫氏）
- ・結団多目的広場（ソフトボール場）完成
- ・さとうきび生産振興島ぐるみ総決起大会開催
- ・与論十五夜踊り保存館（1,2番組）完成
- ・多目的屋内運動場完成
- ・アイランドフォーラムが開催される
- ・与論中学校創立50周年記念式典を挙行
- ・ヨロン沖縄音楽交流祭始まる

1998年（平成10年）

- ・指定金融機関業務開始（与論町農協）
- ・名誉町民有村治峯氏白寿祝賀会開催
- ・南大島農業共済事業合併（徳之島、沖永良部、与論）与論支所開設（本部伊仙町）
- ・全国与論会創立30周年記念式典を挙行
- ・与論郵便局開局120周年記念式典を挙行

1999年（平成11年）

- ・山市郎氏、勲5等瑞宝章を受章
- ・国の緊急経済対策で「地域振興券」を交付
- ・役場電算システム（総合行政システム）導入

与論町のあゆみ

- ・喜村政森氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・クイーンコーラル8 初就航
- ・南政吾氏町長に就任
- ・与論町・ギリシャ国ミコノス市姉妹盟約15周年記念式典を挙
- ・やんばる駅伝競走大会に正会員として参加

2000年（平成12年）

- ・与論中学校と与論高校を文部科学省指定の研究開発実践校として連携型中高一貫教育校として指定
- ・介護保険制度始まる
- ・大角龍矢氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・金井清蔵氏、勲6等単光旭日章を受章
- ・阿多繁氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・保岡興治代議士、法務大臣に就任
- ・名誉町民・有村治峯氏死去（享年100歳）
- ・茶花小学校創立100周年記念式典を挙
- ・那間小学校創立100周年記念式典を挙
- ・（国勢調査による人口6,099人）
- ・第10回やんばる駅伝競走大会与論大会開催

2001年（平成13年）

- ・ギリシャ・ミコノス市訪問団来島
- ・ヨロシマソン第10回記念大会開催（参加者1,265人）
- ・与論町地域新エネルギービジョン策定
- ・役場に財務会計システム導入
- ・淡水化施設供用開始
- ・第4次与論町総合振興計画策定
- ・11代教育長 田中重氏就任
- ・図書館の電算化及び町の公共施設を無線LANで結ぶ
- ・与論町地域婦人会連絡協議会結成50周年記念式典を挙（平成14年4月から名称を「与論町地域女性団体連絡協議会」と改める）
- ・ホームページ開設

2002年（平成14年）

- ・与論町和牛改良組合が農林水産大臣賞を受賞
- ・町営「増木名住宅」が那間地区に完成
- ・「パナウル王国の環境憲法」を策定
- ・町立診療所開診
- ・役場窓口に「総合窓口」を設置
- ・学校週5日制スタート
- ・リサイクルセンター稼動
- ・沖縄復帰30周年記念交流事業開催
- ・住民基本台帳ネットワークシステム稼動
- ・県内で初めて「カンキツグリーニング病」を確認
- ・名誉町民に益田元甫氏を推戴
- ・国の狂牛病緊急対策の一環として、すべての牛に10桁の番号がふられる「個体識別システム」を整備
- ・川田作福氏、勲6等瑞宝章を受章
- ・谷山慶介氏、「正六位」（死亡叙位）を受章

2003年（平成15年）

- ・品覇海岸沖に海中宮殿が完成
- ・県内離島初、インターネット高速回線ADSLが島内全域で開通
- ・火葬場「昇龍苑」が完成
- ・南政吾氏町長に就任（2期目）
- ・与論町収入役の事務を助役が兼掌
- ・町制施行40周年・パナウル王国建国20周年・奄美群島日本復帰50周年記念式典を挙
- ・「与論町の合併についての意思を問う住民投票」が行われ、合併反対票が8割を占める
- ・沖永良部・与論地域合併協議会を離脱
- ・南仁義氏、勲5等瑞宝章を受章



火葬場「昇龍苑」

2004年（平成16年）

- ・漁協に新製氷施設が完成
- ・第36回大島支部消防操法大会開催
- ・町議会議員定数12人となる
- ・与論町自立化戦略会議が自立化計画を提言
- ・サトウキビ生産量が過去最低の26,430トンとなる
- ・名誉町民に池田政敏氏を推戴

2005年（平成17年）

- ・肉用牛販売額（平成16年度実績）が初10億円突破
- ・茶花小プールが完成
- ・有村悦弘氏、瑞宝単光章を受章
- ・消防自動車（10トン水槽車）を購入
- ・新麦屋配水池（200㎡）が完成
- ・YS11型機に替わりQ400型機（日本エアコミューター）が鹿児島・与論間に就航
- ・茶花小新体育館が完成
- ・町元按司雄氏、旭日単光章を受章
- ・堆肥センターが完成
- ・与論小学校創立130周年記念式典開催
- ・宇和寺住宅団地竣工
- ・有限会社エスユー 与論工場開設
- ・（国勢調査による人口5,731人）

2006年（平成18年）

- ・旧町立診療所を鹿児島大学与論活性化センターとして活用
- ・口之津町（現南島原市）と姉妹町協定を結ぶ
- ・町田末吉氏大島郡議会議長会会長に就任
- ・錦江町（旧田代町・大根占町）と姉妹盟約を結ぶ
- ・地域提案型雇用創造促進事業導入
- ・知事と語る会開催（伊藤知事来島）
- ・野澤マゴさん（110歳）鹿児島県の最高齢者となる
- ・ストックヤードが完成
- ・与論高校創立40周年記念式典開催
- ・与論中学校野球部 県秋季大会で優勝
- ・新防災行政無線基地局及び屋外拡声器を整備

2007年（平成19年）

- ・与論港コースターリゾート完成式典開催
- ・パスポート申請・交付業務開始
- ・与論町地域包括支援センター開設
- ・「与論町ヨロシマサンゴ礁条例」制定
- ・Q300型機（琉球エアコミューター）与論・那覇間就航
- ・宇和寺団地（2号棟）完成
- ・町田末吉氏鹿児島県離島振興市町村議会議長会会長に就任
- ・与論中学校創立60周年記念式典開催
- ・株式会社LINKS（リンクス）与論島支社開設
- ・日本マルコ株式会社与論工場立地協定調印式
- ・南政吾氏町長に就任（3期目）

与論町のあゆみ

日本マルコ株式会社 (与) 与論町 立地協定式



日本マルコ株式会社立地協定調印式

2008年 (平成20年)

- ・与論小学校新校舎完成
- ・震度5弱の地震
- ・ライブカメラの移動
- ・クイーンコーラルプラス・あけぼの丸新造船就航
- ・龍園福秀氏「瑞宝双光章」「正六位」(死亡叙位)受章
- ・山下勇夫氏「瑞宝双光章」「従六位」(死亡叙位)受章
- ・田畑宮郷氏「瑞宝双光章」「従六位」(死亡叙位)受章
- ・染川繁夫氏「瑞宝双光章」受章
- ・竹田福重氏「旭日双光章」受章

2009年 (平成21年)

- ・ヨロン特産品支援センター開設
- ・町田末吉氏鹿児島県町村議会議長会会長に就任
- ・宇和寺団地(3号棟)完成
- ・ホームページ開設(リニューアル)
- ・佐藤持久氏・故山下為吉氏与論町民栄誉賞を受賞
- ・光ファイバ開通

2010年 (平成22年)

- ・竹田福重氏、「正六位」(死亡叙位)を受章
- ・西村政達氏、「旭日単光章」(死亡叙勲)を受章
- ・永野展秀氏、「瑞宝双光章」を受章
- ・光才池氏、「瑞宝双光章」を受章
- ・教育スクウェア×ICT計画策定
- ・過疎計画策定
- ・空港ターミナルビル拡張工事完了
- ・役場南庁舎別館工事完了
- ・(国勢調査による人口5,327人)

2011年 (平成23年)

- ・ヨロンマラソン第20回記念大会開催(参加者1,326人)
- ・宇和寺団地(4号棟)完成
- ・西金澄氏、「旭日単光章」を受章
- ・林壽雄氏、「旭日双光章」を受章
- ・第5次与論町総合振興計画策定
- ・ゆんぬ体験館完成
- ・ゆんぬ敷料化ラプセンター完成
- ・知事と語ろう会開催(伊藤知事来島)
- ・南政吾氏町長に就任(4期目)
- ・与論十五夜踊450周年祭開催
- ・池田一彌氏、「九州地方発明表彰」受賞



与論十五夜踊450周年祭開催

2012年 (平成24年)

- ・沖富持保氏、「旭日双光章」受章
- ・宇和寺団地(5号棟)完成
- ・(株)ロボテックと企業立地協定を結ぶ
- ・沖縄復帰40周年記念で沖縄返還要求運動を再現
- ・町議会議員定数10名となる
- ・第22回やんばる駅伝競走大会与論大会開催
- ・県営宇和寺団地(1号棟)完成
- ・新防災センター完成
- ・台風15号襲来(最大瞬間風速44.6m/s)
- ・台風16号襲来(最大瞬間風速64.8m/s)
- ・災害救助法適用
- ・台風17号襲来(最大瞬間風速61.5m/s)
- ・立て続けに襲来した台風の影響でガソリンが枯渇
- ・「フェリー波之上」新造船就航
- ・名誉町民に徳田虎雄氏を推戴
- ・台風被災者のための応急仮設住宅入居開始(8戸)



台風被害による瓦礫の山(リサイクルセンター)

2013年 (平成25年)

- ・千代皇閑十両昇進
- ・福富雄氏、「瑞宝双光章」受章
- ・「静岡市青年の船」40周年・与論渡航35周年
- ・県営住宅2号棟完成
- ・故上野應介氏を名誉町民に推戴
- ・山下中富氏、「旭日単光章」(死亡叙勲)受章
- ・マルコデータベース株式会社「菓草館」完成
- ・社会福祉法人愛心会「ケアホームヨロン」完成
- ・町岡光弘氏、教育長に就任
- ・台風24号襲来(災害救助法適用)
- ・町制施行50周年・パナウル王国建国30周年・町体育協会設立50周年・奄美群島日本復帰60周年記念式典を挙げる
- ・与論町・南島原市姉妹市町協定調印式
- ・口之津・大牟田・荒尾・盤山「移住 開拓の月」除幕式
- ・平田敏秀氏、「旭日双光章」受章
- ・有村榮男氏を名誉町民に推戴
- ・堀田治氏を名誉町民に推戴
- ・東京与論会創立90周年
- ・菊千代氏、「離島振興60周年記念功労者国土交通大臣表彰」受賞
- ・南政吾氏、「全国離島振興協議会会長表彰」受賞
- ・応急仮設住宅茶花団地完成



町制施行50周年記念式典

与論町のあゆみ

2014年（平成26年）

- ・田畑健一氏、「旭日単光章」受章
- ・最終処分場完成
- ・児玉政徳氏、「旭日単光章」（死亡叙勲）受章
- ・益山政喜久氏、「瑞宝双光章」受章
- ・町営城団地完成
- ・与論町公式フェイスブック開設
- ・第1回沖縄・与論島ヨットレース開催
- ・2年間中止されていた第50回町民体育大会を開催
- ・奄美群島のご当地ナンバー「奄美」交付開始
- ・県営宇和寺団地（3号棟）完成
- ・被災していたと畜場が完成
- ・池田テツ氏、「瑞宝双光章」受章

2015年（平成27年）

- ・染川繁夫氏、「正六位」（死亡叙位）受章
- ・町営矢口団地完成
- ・第37回全国JOCジュニアオリンピック春季水泳大会を与論町にて開催
- ・山元宗氏町長に就任
- ・第30回国民文化祭がこしま2015開催
与論町はイベント「与論十五夜踊研究の最前線」を開催
- ・与論中学校駅伝部 県大会3位
- ・第1回南三町夢・ときめき高齢者スポーツ大会与論大会開催
- ・与論小学校創立140周年記念式典を挙行
- ・第56回日本復帰記念駅伝競走大会を与論町にて開催
与論A(男子)が初優勝



山元宗町長就任

2016年（平成28年）

- ・ヨロンマラソン第25回記念大会開催
- ・与論町消防団、消防庁長官表彰受章
- ・知事と語ろう会開催（伊藤知事来島）
- ・南政吾氏、「旭日双光章」受章
- ・竹下徹氏、「瑞宝双光章」受章
- ・第26回やんばる駅伝競走大会与論大会開催
- ・第70回県民体育大会カヌー女子団体優勝
- ・田中國重氏、「瑞宝双光章」受章
- ・増尾英機氏、「旭日単光章」受章
- ・与論中学校駅伝部県大会準優勝（九州大会出場）
- ・危機的な状況にある言語・方言サミット（奄美大会）
与論開催
- ・菊千代氏を栄誉町民に推戴
- ・鹿児島県立与論高等学校創立50周年記念式典開催
- ・千代皇閑、東前頭15枚目に昇進し新入幕を果たす



菊千代氏を栄誉町民に推戴

2017年（平成29年）

- ・クリーンセンター美ら島完成
- ・日本エアコミューター鹿児島・与論間就航40周年
- ・与論町役場、仮庁舎等に機能分散
- ・知事と語ろう会開催（三反園知事来島）
- ・中部日本マルコ株式会社、ヨロニアランドファーム株式会社と食肉加工場に係る立地協定調印式
- ・Q400型機（琉球エアコミューター）与論・那覇間就航
- ・沖 富持保氏、「正六位」（死亡叙位）受章
- ・移住定住促進住宅「サンセット江ヶ島」入居募集開始
- ・天皇皇后両陛下御来島
- ・鹿児島与論会創立90周年



与論クリーンセンター美ら島落成式



役場機能を仮庁舎（屋内多目的運動場）等に分散



日本エアコミューター鹿児島・与論間就航40周年



天皇皇后両陛下御来島

町内主要施設等一覧

市外局番 (0997)

◆ 行 政 機 関 ◆		
与論町役場	茶花32-1	97-3111
与論町教育委員会	茶花32-1	97-2441
水道課	茶花33-1	97-4994
建設課	茶花33-1	97-4928
環境課	立長678	97-4712
商工観光課	茶花32-1	97-4902
与論町議会事務局	茶花32-1	97-3201
与論町中央公民館	茶花1015	97-2079
与論町立図書館	茶花257-1	97-4910
与論町給食センター	茶花1400	97-4438
与論クリーンセンター美ら島	立長678	97-2700
リサイクルセンター	立長684	97-5575
一般廃棄物最終処分場	立長671	—
昇龍苑（火葬場）	立長3173-1	97-4661
与論町防災センター	茶花2045-3	—
サザンクロスセンター	立長3313	97-3396
ゆんぬ体験館	〃	84-3661
保健センター	茶花1491	97-5105
与論町地域包括支援センター	茶花1484	—
介護保険事務局	茶花1190	97-3905
赤佐地区農業集落排水処理施設	茶花2-2	97-2741
土壌診断センター	茶花1157-5	97-3596
ヨロン特産品支援センター	〃	97-3596
堆肥センター	茶花872-1	81-3443
与論町浄水場（淡水化施設）	古里1208-1	97-2165
与論空港管理事務所	立長571	97-3465
与論港旅客待合管理事務所	立長704	97-4527
鹿児島県合同庁舎	茶花1420-2	97-2274
沖永良部福祉事務所与論駐在	〃	97-2274
徳之島家畜保健衛生所与論出張所	〃	97-2033
沖永良部農業改良普及所与論駐在	〃	97-4460
◆ 教 育 ・ 体 育 施 設 ◆		
茶花こども園	茶花1436	97-2737
与論こども園	朝戸1506-2	97-2195
那間こども園	那間3348-1	97-4668
ハレルヤこども園ゆんぬ子育て支援センター	茶花2002	97-4285
町立茶花小学校	茶花298	97-2031
町立与論小学校	朝戸1445	97-2241
町立那間小学校	那間286	97-2278
町立与論中学校	朝戸1134	97-2277
県立与論高等学校	茶花1234	97-2064
与論町総合運動場	茶花2030	—
砂美地来館（町総合体育館）	茶花2045	97-5001
B & G 海洋センター（プール）	茶花2045	97-5023
B & G 海洋センター（艇庫）	茶花2466-1	97-5033
多目的屋内運動場	茶花2666	—

◆ 消 防 ・ 警 察 ◆		
沖永良部与論地区広域事務組合与論分遣所	茶花1190	97-0119
沖永良部警察署与論幹部派出所	茶花2092-1	97-2803
交通安全協会与論地区協会	〃	97-5115
◆ 自 治 公 民 館 ◆		
茶花自治公民館（茶花生活館）	茶花2325-3	—
立長自治公民館（立長へき地保健福祉館）	立長2341	—
城自治公民館（城青少年センター）	麦屋3405	—
朝戸自治公民館（朝戸児童館）	朝戸1772	—
西区自治公民館（麦屋へき地保健福祉館）	麦屋1904	—
東区自治公民館（東区青少年センター）	麦屋1687	—
古里自治公民館（古里青少年センター）	古里1403	—
叶自治公民館（叶生活館）	朝戸396-2	—
那間自治公民館（那間へき地保健福祉館）	那間3347	—
◆ 医 療 ・ 福 祉 機 関 ◆		
与論徳洲会病院	茶花403-1	97-2511
パナウル診療所	那間2747-1	97-2073
龍美クリニック	麦屋1305-5	97-5607
児玉歯科医院	茶花16-9	97-4359
さだむら歯科医院	茶花2426-1	85-1118
介護老人保健施設「風花苑」	麦屋1305-5	97-5011
特別養護老人ホーム「よろん園」	茶花2179	97-2285
グループホームゆんぬ	茶花302-5	81-3919
多機能型事務所「秀和苑」	立長3069-5	81-3170
ケアホームヨロン	茶花1022-1	97-5127
福祉センター	茶花2643-3	97-5042
◆ そ の 他 事 業 所 ◆		
(株)奄美航空ツーリスト与論営業所	茶花65-1	97-2476
(有)有村運送店	茶花232	97-3251
(株)龍野運送店	茶花2222-9	97-3151
南陸運（株）	茶花293	97-3331
大洋タクシー	茶花17	97-2161
与論郵便局	茶花68-6	97-2042
朝戸郵便局	朝戸1575	97-2016
那間簡易郵便局	那間3419-1	97-2931
あまみ農業協同組合（与論事業本部）	茶花64	97-3121
与論町漁業協同組合	茶花241-4	97-2221
与論町商工会	茶花2323-1	97-2113
ヨロン島観光協会	茶花32-1	97-5151
九州電力（株）与論委託営業店	茶花265-2	97-2040
与論島製糖（株）与論事業所	茶花1-3	97-3131
奄美大島信用金庫与論支店	茶花37-6	97-3181
(有)エスユー与論工場	茶花1015	81-3440
日本マルコ株式会社与論工場	茶花1796-1	97-4888
(株)LINKS（リンクス）与論支社	茶花997-3	81-3178
(株)ロボテック	茶花1891-1	97-0010

あ と が き

この要覧は、与論町の概要をご理解いただけるように、必要な資料をできるだけ多く収集し、掲載内容も一部変更いたしました。

しかしながら、内容や体裁などに、まだ不備な点が多いかと思います。

皆様の率直なご意見をいただければ幸いです。

平成29年は、台風等の自然災害が無く、畜産でも子牛価格が高値を維持しております。

また、各種メディアに取り上げられたこともあり、旅行客の入込み客数が増加を続け、茶花の街や百合ヶ浜が賑やかになり観光・商業にも活気が出てきました。

スポーツ・文化面におきましても、郡体でのサッカー及び陸上の砲丸投において3連覇を達成する等、様々な場面で町民の皆様の活躍が見受けられました。

また、天皇皇后両陛下が初めて御来島され、百合ヶ浜や十五夜踊を御覧になり、島中が喜びに沸きました。

おわりに、町勢要覧の編集・発行に際し、ご協力くださいました関係機関の皆様方に心から感謝の意を表しますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成29年12月

与論町役場 総務企画課

与論島への熱い想いに感謝します

ふるさと納税

皆さまからいただきました善意(寄付金)は、豊かな自然環境・
地域資源の保全や文化・芸能の伝承等4つの事業に使用させていただきます。
皆様の「与論島への熱い思い」をお待ちしております。



ふるさと納税は、与論町役場ホームページからお申し込みができます。
<http://www.yoron.jp/>

編集・発行 与論町役場 総務企画課

〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花32番地1

TEL : 0997-97-3111 FAX : 0997-97-4197

E-mail : kikaku@yoron.jp

公式ホームページ : <http://www.yoron.jp/>

公式facebook : <https://www.facebook.com/yoroncho>